諸家系譜

位二

加 金森 神田 神戸 神部 神泉

神治 神山

共二百廿五内

共八十五

太政官文庫
和書門
類 號 三二六四九
函
架
冊 二二五

内閣文庫
和
三二六四九
二二五

内閣文庫
番號 和 32649
冊數 225 (123)
函號 156 23

国立公文書館
National Archives of Japan

未十二月十五日
寄合肝煎衆出

清和源氏
弐百七拾五番 端書 □ ○

家譜

八 源

寄合
倉橋文之丞

清和源氏　土岐　金森

源頼光嫡男正四位下摂津守頼国六男
正四位下美濃守国房十代土岐左京大夫
美濃国守護職四代孫金森数宗安定近治曾

御旗　白無地無文

幕之紋　桐　裏梅紋　亀甲

桐之紋者寛永二十八日至字年従足利
義輝公茂義大膳大夫拝領之而後
大膳大夫又従信長公年後御旗长云
長近再拝領之而也

家之紋　梅鉢　裏梅紋　二代目出雲守可重之裏梅紋

替紋　亀甲　丸梅鉢

金森兵部定近治曾　改可近　五千八

長近　従五位下　兵部大輔　後兵部卿法印

母　未詳

長近兵部卿法印任飛騨国守護　古号長
信長公御字　云河内国金田之郷又号長屋郷
寛永元乙丑年四月十二日卒　法名金龍院殿
郷飛騨国高山素玄寺

大永四甲申年誕生　於美濃国土岐郡生
金森村　父定近　母一不詳　改姓金森

家人となり氏以天文十辛丑年十七歳にて織田信秀に仕え
其翌年ゟ同十八あ年 信長公濃州斎藤龍興附
州ゟ落城候ゟ同初めゟ三尺持兵に人と士分
人士卒兼て百五十人程有之 江州元亀元年
信長公御名元て大軍附可及同年五月朝倉
浅井家を攻候節信長公浅井等初陣
之事も亦長政も両郡に被下其後攻に蒼之頭
而朝倉及び浅井同年信長公前後武に
下人と列て成る 羽柴之名字天正年間在近江国に補
據守同年元亀之頃兵を追而ゟ信門に元亀年
ゟ則仕候信長公西京原而云会戦信州に也

甲子年同人陸奥稲葉山城攻取中にて永禄十年
ハリ同人足利義昭公に助力有之大兵にて上洛
信長西信長と親ミ候て擁立又其後
元亀元庚午年浅井長政并朝倉義景
義祐江濃之者に毎度信長公江州
へ浅井と相年攻相年信長公宗江州
越ノ府ゟ武田信玄松永久秀信長と
相模ゟ細 長政早ゟ代りて長政ゟ元ゟ
信玄長政詳難不意を遅近江浅井
長政則と浅陸両城と之関信長公に加勢
合籠城候処山下 相模ゟ取懸浅井の

年ゝ摂津ゟ出陣して近江ゟ外信長公と出其志
後ニ至り軍勢を出し信長公を攻め摂州門跡一揆
等ゟ浅井朝倉ニ向城を構へ諸軍を以
攻撃セしむ門跡ハ依り七月ゟ九月迄信長公ニ合
江州并ニ浅井朝倉ハ同し三年迄軍ニ催シ人数集
不止攻撃ニ依リ　元亀元年ゟ同四年七月迄ニ足利義昭
將軍ニ頼んで斯年中浅井朝倉滅シ信長公を軍
門を落シ公方を降伏ス同年攝州並ニ門跡當て
城を攻ル其後信長江州ニ於テ越前を調へ其土地
及び残ル諸将并ニ門跡ニ御ヲ遣ス事迄を伊勢長島
同年ニ信長公江州ニ在て征伐を御征ス

附若武田勝頼ハ河合鉄砲并甲州ノ軍
攻将よりも門二甲成年六月
長篠城を圍中ニ出奔ス奥平信昌ハ揺モ自ら其年
九八郎信昌并其士卒を拒張て城に篭り兵を
信長公へ求中ニ御信長公ニ訴ヘ援兵を遣し中ニ先
明智を以て長篠城檀兵ハ首打ちて信長公ニ
方角を申出新毛下旗旗ゟ家臣公ニ助勢
家康公ハ則中ニ付引用其旨酒井左衛門尉忠次ハ打手
大きを扶助ヲ受る事ニ御府伊勢ハ同西郷相合并
家人を遣ハ出て新撰ニ於て攻上ル陣中
不義兵士を出し信玄の軍勢兵を攻大ニ軍勢

箕ヲ被打事ヲ被為仰候ニ付、子息金波付御打手
土屋右衛門尉兄、弟ハ津九右衛門尉ト申候、其後
林兵衛
直次、此者ハ元金丸ト申候、信玄公ヨリ加藤須藤
大輔ニ長き候而同年七月信玄公ヨリ加藤二郎
衛門尉と相談之上合戦仕、加納二郎手柄ヲ付
旅御所ニ而拝領十五貫文ヨリ同年廿年七月甲斐
自分ニ組候ニ付蔵候ニ付同年十二月甲斐
松本村聖領付候ニ付、松木蔵本宗古蔵当分
利用被成可申候、同年十二月拝也
林兵衛
惣領并ニ数寄者木村宣ニ付長き三金銭付
同七月年松本上津屋敷并二而年宿候

長之下松分思召之由任者之相同年二月甚兵
一族之儀ハ武田ニ被成可申旨達之候
同年壬午年二月信長公甲州武田勝頼被成候時
甚之丞為其者ニ罷居候事申候之人
飛騨守方ヘ同年加々長公甲斐守納
之者ハ当家御信候ニ付三郎右衛門尉勤申候
同年六月二日明智日向守光秀謀叛ニ付信長自害
二條城信忠公ニ而ニ被成候ニ付東照宮ヘ長柄
鉄炮往之候頃御家之者共ニ相勤申候
家康公ニ罷出候処、明智光秀ニ被下候
同年十月ニ家康公より被下置候ニ付此人ニ被下候

一 第九修理亮ニ 天正十年信長生害 刑監任
其後御成敗 … 同十一年正月 …
羽柴筑前守秀吉 柴田修理亮勝家と合戦 秀吉ハ
於越前北之庄 柴田を討取 …
豫州 … 秀吉ハ … 一揆 …
同十二年 秀吉ハ 家康と … 和睦 …
同十三年 秀吉 関白 … 任 …
紀州 … 秀吉 … 根来寺 … 同十四年
賤ヶ岳 … 近江 … 同十五年 九州 …
二十一 秀吉 太政大臣 … 同十六年
秀吉 京聚楽第 … 造営 … 東山 大仏 …

[illegible] 将兵三千人余ニ而 高麗国 小田原 秀吉ハ
羽柴筑前守 長近 父子ニ而 … 関東 …
[illegible] 同十八年 … 伊達 …
同十九年 … 九戸一揆 … 蒲生 …
… 父子 … 秀次 … 文禄元年 朝鮮
朝鮮 征伐 … 長近 … 文禄 … 同二年
同三年 … 伏見 … 慶長 …
慶長二年 … 秀吉 … 建立
隆景 大徳寺 … 同三年 …
… 同三年八月 秀吉 薨
太閤 … 秀頼 … 同年 …

被為召寄候而御判形頂戴　御感之状被付候　拙者
数度之高名致し候之段御存知ニ付　同年三月
被為召寄加増被下置候其後大坂御陣ニ付　御感状被下候
其以後御陣御供仕候付長久手御合戦之節ニ茂
高名仕候以御証文上意ニ而御意ニ被下候
同年同月
被為召寄候而中務殿御使番仕候付　御感状被下候
候ニ付其以後又天正御陣中ニ御供仕候　同年十二月二日
被為御使番御取次　御意被成候　御判
其以後同陣ニ而長久手ニ而働候　同年無類之高名仕候
御意被成下候　御判御付候　同年正月十一日

被為召候而京都将軍様御前ニ而　御意ニ付長久手
騎馬之者ニ而御使仕候　同年七月廿日江戸中山
之陣ニ付而石田治部少輔ニ而御遣被成　上意
被為　御書被成　御判形頂戴長久手之者ニ而候
右衛門様
一陣二陣之御利三日出陣仕長久手之二陣
之内御旗本衆ニ而高名仕候鳥羽伏見
二段目ニ而長久手ニ而同月廿八日ニ而働候
仕候同月於同所ニ而御旗本衆ニ而
高名仕候早速ニ而長久手ニ而御前ニ而
伊賀守殿ニ而長久手北山ニ而御証文
被下候ニ而御意ニ而御返事被下候

慶隆同前 上意依丹後山城之福知山大守也
貞通ハ本ハ當国之郡上郡ニ居住也同年
九月於木津陣上意依上意讃岐國内兵庫
之定河内國河内ヲ被下之郡上城ヲ守
京極修理亮ニ被下一前之ニ長之同年六月
然ル國ニ京ニ上遠慶喜秀家不田
治部少輔ニ入会戦ノ同月十日於桜井族ノ役
大谷吉継小西行長等歸陣ニ於伏見城ニ入ル
田中兵部大輔吉政同長之ニ於テ近江佐和山
長政ハ会戦後帰陣之被下八月加増之事
慶長同年十月於京都

西尾河内守光教 上意依上有知 河内国太田
二万石之余ノ御朱印ヲ被下之嫡子出
雲守所望ニ讓リ長道ト申候上有知ノ
城ハ被申付小倉山城ハ同年上有知之近江
此一揆ノ徒之所ニ召使ニ而集候得共
ニ秀利ハ五月ニ於而此時被下
慶長六年長道

佐藤備中守方政 同月廿日於関ヶ原
上意依 河内之郷ニ御加増
佐藤備中守又ハ長道居城ノ方 河内郡其外
春日ノ一郡之内御加増之事被下

一月二一日ニテ御蔵ニ右自身長蔵之人
不相成候 同年京遊相成候処皮鞘事件
相分 別当事 同人等返事因縁相達
相成候ニ付 合当自身右往此将相成候身分
同人会千年山城国河内和泉四郷内ニ
実ニ自身同九月辰年実ニ相済 藤四郎
御子分ニ付 御養子為続二一連 [illegible]二連自身
仕候ニ付 名前藤ニ相続事 出生無之候
其節 右自身実諸無之 並御七子合致 右七相
相成二名ニ付不相成 同十三戌申年八月十二日
相続人名前年数八十才ニ而業 [illegible] 合致候

右別記 要件 [illegible]
右往古 同判物 同断書付 実ニ丁十八年
二月十六日出火ニ付焼失

長別 女 出生 男女 一人

一 出所七男 年 生涯 同年 織田中務 後
出生 住 天正十年 十月 同断 向
出生 [illegible] 二 [illegible] 年十九 才
同年 山口 [illegible]

一 可 宣

某母　不詳
実父　堀井某　浪人　長谷川監物家来
実母　不詳
妻　堀井郎右衛門娘　遠藤但馬守家来某女
天正八庚辰年嫁大[illegible]月[illegible]離別
後年[illegible]新縁
後妻　久保[illegible]同[illegible]女
元禄元戊辰年[illegible]生　八[illegible]下[illegible]
[illegible]天正[illegible]年[illegible]
[illegible]
[illegible]
文禄元壬辰年[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

少々之御加増之稲葉[illegible]通利被仕
同年依分 増候とて 同月十日[illegible]丹後守
御除被[illegible]稲葉[illegible]之[illegible]之知行
[illegible]関東ニ而之[illegible]下長[illegible]御[illegible]
[illegible]御役[illegible]居[illegible]御[illegible]
同年十月[illegible]御[illegible] 上之三同十三
[illegible]年十月[illegible]之[illegible]一家
[illegible]御[illegible]之[illegible]
二万[illegible] 同年同月[illegible]
[illegible]御[illegible]
[illegible]御[illegible]

[illegible]上三[illegible]御[illegible]
[illegible] 同十六[illegible]
[illegible]御[illegible] 同年[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]御[illegible]
[illegible]六万石[illegible]
[illegible]田[illegible]
[illegible] 同年十一月[illegible]
[illegible]御[illegible]

御蔵ニ御勝手方次御馬公事掛太田ニ居候
兼而御物頭格 是御鷹方御用ニ付其外
兼帯ニ而相勤不申候ニ付而御勝手清進並菜
御勝手方ニ而相勤候
有徳院様御代御勘定吟味役支配 御家
四番席ニ被仰付候ニ付其後御側御用人
享保十年御役御免被仰付候後御番頭格
元紀州殿ニ而被召出候由ニ付本丸御番之
享保十巳年御代官被仰付候御用被仰付
其上御勝手御用方御勘定奉行等ニ
御序ニ被為仰付相勤被申候由御座候

有徳院様御庭御用役ニ而重相勤候
御小納戸御庭役支配ニ付其外ニ而御目見
可被召出候小納戸御庭方御進ニ而罷出
御番役ニ被召出相勤候ニ付御役御免
紀伊殿ニ而御役御免被仰付候ニ付御蔵
大坂御蔵ニ被仰付候ニ付二年程ニ而
進候可遊被成御目見ニ付御代官被仰付候
御役料御足高被下御勘定吟味役仰付
元文二年大坂御破損奉行被仰付候
享保元年御年寄役ニ而五万石程支配
御代官所御用ニ付御役御免被仰付候

寛永岸和田ニ於テ死去 年月不知 大坂御陣ニ
同岸和田ニ在番ス 其後ニ至リ嶋原
人数を召並村 八人首二百八十級討
取之 年 之
台徳院様御前ニ召 上意
于 年
寛永 年 雲
法名
台徳院様 御剣
長兄 母
母 不詳

寛永十一丙子年 月 日
寛永 河 二百石
長兄
二百石
法名
寛永 年 月 宗玉

女子 母
母 長谷川 女
長谷川

重近 母
母 上

元忠十二甲申年六月十九日出生享年信又
兵衛追加同年二月家督同十二薪炭支配享保元歳宝暦二
明和七酉年十二月十六日相続寛政享年歳七十二葬
京寺町大雲寺甲出院徳英宗和
法名信行　甲斐守

室次、母
某　同
日置伊予守行正女
大橋主水正重房寛政十二未年行年
於徳院殿
寛政元年同十二年大坂御番頭同年御使番
九年安永年　同日暮里供　遣同　北田氏女

文政元戊寅年三月八日江戸卒年六十三
葬同所常楽院桃花庵見

室吉　布之助
母　同
生　同

出生年月不知寛政二乙丑年十一月廿四日病
門十八辛巳年六月八日卒歳二十六
法号不知号吉夢信界

室彩　乙
夕　某　同
丸　某　同信下
母
某　同信女
同某家臣女

文禄五丙申年十月改元慶長元丙申年
於若州庵原ニ而誕生 於御前御成 [illegible]
申ノ御年 甲子九年 寛永大猷院様ニ而
於若州依御縁組 於尾州御縁組
御老中 御目通 吉田ニおゐて 乙卯年
夏御準ニ而

於若州依御年 元和十年改元 七月 [illegible]
於若州御名 右 御父上 御養子 [illegible]
寛永年 [illegible] 長崎 [illegible]
御国 [illegible] 上意 [illegible]
[illegible] 拝領

太閤秀吉御朱印 [illegible]
[illegible]
西国 [illegible]
西尾家 上意 [illegible]
[illegible] 上意 [illegible]
於若州 [illegible]
右衛門 [illegible]
右衛門 [illegible]
[illegible]
上意 [illegible] 元和 [illegible] 年 [illegible] 月
右衛門 [illegible]

御霊屋石燈籠二基献上仕候 同延宝年年二月朔日
上意有之大猷院様御尊前 同年四月朔日御靈前
四御所代官二千俵三年被下置 御馬拾頭被下候
候間御加増仕 同元禄十年 御役御免被仰付
常憲院様 御霊屋 同年同月御靈前江山
御宝塔造立仕 同年四月靈前江御 同七年 右石碑
台徳院様御霊山 御掛り有之 右御靈前仕
寛永十二丙子年秋
台徳院様
大猷院様 御上洛之節仕候 御供二被仰付候
御供仕
大猷院様御神靈建立 同年被仰付御霊屋入

大猷院様 今上御即位年四月 右年上意有之候再被仰
御霊前御祭 御殿内所 御金御拝領仕候
同七年 同八年 被仰付 東叡山御霊屋御造営
大猷院様御霊屋被仰付 右 拝領仕候 被仰付
右之年再御修復 雲山御靈前相済 御仕置被仰付
右東叡山 御宝塔 右御靈屋 拝領仕
年来御奉公仕候 右御靈前 右御宝塔 被仰付
候御用被仰付 右御靈前 御修復 拝領仕
寺社御奉行 拝領仕 同九年申年十月 右
右年 御用御勤 同年 同十年
下り 御靈前 右年 同年 御靈屋

寛永四年より同十年迄毎年秋
大猷院様御上洛之時御供仕同十三丙子年同十七
庚辰年西丸
大猷院様御見 御供衆ニ被仰付 同十八年辛巳八月
厳有院様御誕生之時 御傅ニ被仰付 同年八月廿三日
御膳番ニ被仰付 御腰物 [illegible] 御役料三百俵被下置 [illegible] 年
家綱公 [illegible] 寛文 [illegible] 年
御小姓組 [illegible] 上ニ被
崇源院様御前 [illegible] 中山 [illegible]
同 [illegible] 二乙丑年四月
大猷院様御遺言 御傅衆ニ被仰付 [illegible]

[illegible] 年
[illegible] 寛永 [illegible] 年七
[illegible] 年 [illegible] 寺
[illegible] 宗 [illegible] 月
[illegible]
大猷院様 御 [illegible] 組
女子 [illegible] 一向宗 [illegible] 別当院妻
母 [illegible]
可次 母 同 [illegible]
妻 [illegible]

林家
名左衛門　寛永元甲子年生　初将門十九日寛文年
元和元乙卯年足利　大隅守　御摩　[illegible]
寛永二乙丑年　嫁　[illegible]
[illegible]　年　[illegible]　歳二十七
[illegible]　月　英宗心

重信　母　右同
元和元乙卯年　[illegible]　仕
[illegible]　代　[illegible]
[illegible]　仕　[illegible]

以上六人

重義　母　右同
元和八壬戌年　[illegible]　仕
[illegible]
[illegible]

女子　母　右同
嫁　[illegible]　小出　[illegible]

重浪　母　酒井山城守　[illegible]
右同腹　[illegible]
慶長十二丁未年生　[illegible]　元和八壬戌年　[illegible]

大猷院様御亀從御番衆之節江戸ニ而御前ニ而御番被仰付
但馬守忠宣家来之ニ而上下ニ而被下候様子
六男ニ而上下也

彩直　酉年八ツ隠居仕候　無高ニ而候之様

母
書　和田新山城守女　某女

台徳院様
大猷院様江
文禄元己未年生丹羽草之進於年五月七日
御書院番相勤之　御目見仕候年
十二月十日紀伊守殿安之丞寛永二年十月七日ニ参勤
寛永十二年進御祝家丹後守家衣所ニ而
大猷院様江参　御役御百把

嚴有院様江御代々御奉公之節之道ニ而無相違
御代々勤仕　御目見之父子被仰付右番
常憲院様江相勤　御番料頂戴ニ而
大猷院様御代寛永十八年御目見御番衆
大御番ニ御番衆ニ被仰付之右番御代ニ而御番衆
御番衆千石ニ而安藤権之助様　同年松平様ニ而
御番衆ニ御番衆上御役御蔵米宜扶持ニ而
同年之寛永二年御番方御役白銀御拝領百把献
寛永年中御番衆ニ而御祝日年之御番衆御役頂戴
大猷院様一回御法事中ニ而御坊御供仕候ニ付
寛永十二年十二月三日寛永十三年三月御家督ニ而

寿宮ノ維持を受流法を継 御能を以て召出され
同三年再勤 勅使参向の時大夫と号し 寛永の東
国大猷院殿の御前にて能を勤め 慶安
承応元年より老を以て 明暦二年二月十八日
御能大夫 御扶持を給ひ 能を辞し三十人扶持を
給有 本より 寛文二年十一月卒 有慶
気以致仕 後病 子有
若年 御免 京に於て 能を勤め
居所 御扶持 某 城に 卒
某 某 同 年

大夫某流 桐 御 連 某 四 人 同 年 某 十 年 某 某

某 御免 能 時 某 月
某方流 桐田元 御目見 十 某 某 某 某
某 某 某 某 御 某 某 某
同 某 年 十 月 某 某 某 某 某 某
某 某 某 御 某 某 某 某 某 某
某 某 某 某 某 某 某 某 某 某
某方 某 入 某 同 某 年 十 月 某 某 某 某
数 十 七 歳 同 某 某 某 某 某 大 某 某 之
某 某 某 白

女子
某 某 某 某 小 某 大 某 有 某 某
母
某 女

重光　母同　大学　子孫有之別ニ記

女子　母〃　嫁[illegible]　曽我山城守長頼室

從純(ヨリスミ)　母〃　号一向宗　照蓮寺十三世　新田義貞後胤[illegible]室

重照　母〃　傳八　[illegible]年[illegible]別

女子　母〃　嫁[illegible]　[illegible]

女子　母〃　嫁[illegible]村[illegible]　[illegible]長[illegible]室

重行　母〃　備前毛利山城[illegible]　[illegible]　始定[illegible]

重直　母妾　寛永二乙丑年二月[illegible]代[illegible]　[illegible]

女子　母〃　嫁[illegible]　[illegible]利[illegible]室

範明　母〃　覚力　號三八　寛文七丁未年[illegible]　[illegible]

右父宮彌彩之通ニ而 右和歌説之付傳相承之事
御在少宮志之定説天和年中宗因相傳候得
後集二而同氏相続候一同帰候天和之在京
へ下り後尉之事也中面ニ宗因末市之相続之事
得相傳宗田宗安之氏宗之添此訳旦宗安二丑年
六十九花明文字之人物段々御座候

可俊 大橋 号居士卿
母 几
寛永二亥年 稲丹生 宗安之孫宗人
右父宮彌彩之通 和歌説 宗匠相傳依之
以後宗家ニ依而号宗雨相傳申候 山口部

上記令春後候 嘉賀(カツカタ)書上ト
宜利 大通 号閑人
母 某女
太蔵流師
岩者流権
寛永六己巳年生 號村ニ付之再生之ノ人
河野之入門中九年寛永年 正月御謁
右翁丸阿竜従了右御名家 上京和歌説
其之子不知 右筆家 正保四丁亥年ヨリ七十年程
十九年後宮有安堂以後号春嶽紹桂

女
宜秀 杉之助 後 藤安友知道
母 某女

女

女子 母 某女
大河内伊豆守源信祝室
年月日不知

女子 母 某女
諸丹後人 榎並伊兵衛盛正室

女子 母 某女
早世 同 新井某室

女子 母 某女
元禄十七年甲申年七月生 松平出雲守 中務大輔
享保十五年甲申年十一月十六日卒

女子
榎並八左衛門某室

女子 母 某女
尾張藩臣 山本市郎兵衛氏定室

頼崇 母 某女
従五位下 内膳正 従四位下 兵部大輔
某 実母笹生氏 井上右近将監正任女
享保元年丙申年五月朔日生 享保十六年
延享元年十二月廿六日叙従五位下 任内膳正 宝暦二年
十二月廿六日任兵部大輔 同十二年正月 同年九月叙従四位下
近江国神崎郡 甲賀郡 蒲生郡 等之内 遠江国 城東郡 等領

御右筆隨身御祝中之座ニ出仕御奏者
御馬代献 同月九日叙従五位下昇殿
献之同年十一月廿六日補肥後守二十
御右筆役備前守家督相続之後如先規
下り年始御祝自江戸御右筆役御右筆勤
参勤之節同七丁未年正月
往来寺田河原二居 陸奥国[illegible]
[illegible]山寺江下向之時同月廿七日
御祝之御用ニ付下[illegible]相勤
同九年二月[illegible]仰付之[illegible]
仙洞使東園大納言[illegible]

[illegible]重経御月[illegible]
同十年[illegible]十二月廿九日[illegible]
[illegible]渡[illegible]貞享[illegible]

直友 母
元禄[illegible]
同元乙未年同氏 新田直清[illegible]

某 母
[illegible]早世

直清 母
妾 早世

重経 母
同 [illegible]

延宝六戊午年十一月十一日酒井雅楽頭忠挙宅ニ生

頼旨（トキ）

母　万卯　[illegible]

妻　井上相模守正任女

[illegible]　松平伊予守[illegible]女

宝永元甲申年[illegible]江戸ヘ[illegible]同十二月十五日[illegible]

遠江[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

白須甲斐守殿組花畑番之時同年同月十三日
思召有之御前江被召出[illegible]御目見[illegible]
御小納戸被仰付[illegible]三年進物番
御小姓組番頭[illegible]御加増元文三年
同月十四日[illegible]御役料[illegible]御奥
被仰付[illegible]御用部屋[illegible]
同年十二月[illegible]御目見以上[illegible]
大岡越前守殿[illegible]
勝手掛[illegible]御側[illegible]
御用人[illegible]
御同人被仰上[illegible]

柳沢出羽守殿御用部屋ニ而　上意之趣御自身
被仰渡[illegible]
[illegible]
[illegible]
拾五日[illegible]
[illegible]　御西丸御代官
[illegible]
御留守居[illegible]
[illegible]　御勘定奉行
[illegible]　上意
[illegible]　真綿[illegible]

同七庚午年四月十五日御役御免　同九同年十月
廿日御小性組番頭　御書院番頭ニ被仰付
中ノ間　同元年六月廿一日　松田伊豆守支配
番頭支配被仰付　同年七月廿一日　御奏者番
寺社奉行　同年廿二日　本紀伊守跡
一番　松平伊豆守　大目付兼帯
小山並寺社奉行　御役御免之儀
被為　同六癸酉年　御役御免　御奏者番并
寺社奉行仰付候　同十丁丑年六月十五日
紀伊殿御入城　同年同月廿八日　御奏者番
御役御免之儀　同年同月廿八日　同十四日
御役御免　十四年間

御免之　御奏者番被仰付同十九日再ニ奏者番并
同五戊辰年六月廿三日西丸御側御用取次
被仰付同十二己卯年四月　寺社奉行被仰付
御用　同年十月十九日　御役御免　寺社奉行
御役御免　同年　十二月　御加増
同十三壬午年二月十九日　御役御免
同十四癸未年四月　御役御免
松平右近将監　松平右近将監　同人
御役御免　同年　御用　同年同月
同年同月　同年同月　同年同月
御加増　同十七壬辰年二月十三日　御役御免

御代官稲垣[illegible]之丞　[illegible]年四月より同人支配之方
[illegible]同[illegible]年より
[illegible]百田御代官所[illegible]二[illegible]
[illegible]
[illegible]年[illegible]御代官[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]一年[illegible]御定[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

貞[illegible]之[illegible]年二月[illegible]
[illegible]
[illegible]年[illegible]
[illegible]年[illegible]月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]中川[illegible]
[illegible]
[illegible]
八幡[illegible]山[illegible]

大猷院様御代於御書院番被召出 [illegible] 之勤 [illegible] 上意 [illegible] 上京
[illegible]

利[illegible]

[illegible]

重諾

母
某女

[illegible]

可寛

母
某女

文昭院様 [illegible]

享保 [illegible]

元禄六年癸酉年七月廿七日卒 法名寿光院
心覚義廓

臺頼（カツ） 又右衛門 後采女 称し

女子 母同 同氏左京亮英下渡辺播磨守頼綱妻

可充（アリヨシ） 主税

可麗 昊允

女子九人 母某 何も早世

某 母某女 七之助

寛永二丙戌年（？）……之子ある

某 紋之助 早世

女子二人 早世

某 母 鶴之助 早世
何も某女

女子 母某女 早世

享保十一丙午年同氏左京氏直（？）……

頼錦（カネ） 始臺於 吉之助（？） 後又左衛門 五左衛門
美濃守（？）

祖父　出雲守松平嫡孫養祖
実父　長門守　阿部寛
母　　同妾
妻　後丹田中備後守[illegible]女
享保十六辛亥年縁組[illegible]年婚姻
正徳三癸巳年江戸出生享保[illegible]年[illegible]
実祖父出雲守[illegible]嫡孫[illegible]同月[illegible]
有徳院様へ初而御目見[illegible]二[illegible]代[illegible]年
十二月十六日家督[illegible]元文五庚辰年七月十六日
祖父松平出雲守遺領[illegible]無相違被下[illegible]同年
同月[illegible]

有徳院様御代[illegible]年[illegible]御番
惇信院様御代[illegible]
二[illegible]
浚明院様[illegible]御目見[illegible]年[illegible]
[illegible]被仰付[illegible]
浚明院様[illegible]御目見[illegible]年[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

同月廿七日上意御祝儀并地抱十様御ニ方御先ト
今上皇帝践祚宝永改元御宝永年五月御四年
之ニ御即位之儀 同之令天文年四月廿四年迄
桜町院践祚延享二丙寅年十月十一日
御代始御祝儀 御桃園院丁卯年四月十一日
ら其後御即位御座之候旨被仰出候由ニ
御祝儀申上ル
前之通候ニ付御代替之節之御定ニ御座候
尤御儀其外御祝儀上ニ御宿ニ申上候由
其外ニ御山門様御出之御方様ニ御座
御十三日被仰出候御同人主公両年四月

手代御番頭御役御内ニ御役御役所御陣屋二御座
御奉行御先手御持筒御組頭御番頭加役
御手前年ニ付被仰付御番有之候 順々御目見
此節御役御免大番組頭之新番ニ被仰付
同十二月十日被仰渡御書付十二
日本御坊方ニ付
寛政元酉年四月十九日書付被仰渡候
寺社御奉行御用ニ付
御支配御宿御同月十九日御同人
元四御人御支配被仰付候年々
御幕府御見樹院殿山御座

頼元　始采女　出雲　初名　彦次郎

母　某女

寿　撰象山墳　松平隠岐守信某女妻

延宝二丙寅年 生　東門 宝永八年十二月

元禄 御目見 同 奥 部屋

享保十六辛亥年 出仕 延享元甲子年 正月 卒

有住院殿 性住院 初

十二月 十六日 支度 仕 御書院 番 仁 十年 正月

十七日 (Tanaka, 2007) 宝 大 年

十二月 五日 信文公 御 寛 之 年 正月 十五

寿養院 殿 何 従 生 也 従 [illegible] 大 院 [illegible]

明和 元 人 中 卒 九 年 [illegible] 年

歳 五十 葬 谷中 [illegible] 宗 関

正辰 遠江守 妻 某女 姉 永 藤人

母

宝暦 二 年 六月 十日 生

某 遠江守 正 数 [illegible]

女子 何 保 井上 八 正 桐 世

母

完 延 年 [illegible] 間 [illegible] 婦

陸 兵 [illegible] 八 年 十二 月 部屋 十二

享 年 七 月 [illegible] 英 妻 明 和 元 甲 年

二月廿八日家督相續ス

頼方

母　某氏　妾

寛政八丙辰年十二月十五日信濃守殿於江戸出生
享和四甲子年正月十日病死　同所ニ葬

可諾（アリナリ）　母　某女

寛政二庚申年正月十日江戸ニ生ル　天保十年　享年十四
寛政十二子年病死

女子

母　某女

寛政八辰年正月十日生ル　酒井隠岐守忠貞妻

同

寛政八年十一月十七日江戸ニ生ル
享和元年二十二月廿三日

頼興（オキ）

母　某女

寛政八年　頼方　某

錦（カネ）豊

母　某女

寛政八年正月廿八日江戸ニ生ル
圓誠院　嘉永元年

頼興（オキ）

母　某女

寛政元年生ル　信濃守殿ニ於テ出生
田中氏女沢川氏妻

明和二酉年四月廿四日御番入 御大番大久保
天明八戊申年七月廿八日病氣ニ付御番御免 小普請
新組ニ 百普請 清水中務少輔支配
[illegible]
[illegible]
寛政元酉年二月廿六日 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

以御奉公被仰付九月廿七日病死 [illegible]
[illegible]

葉
母 佐奈 早世
母 [illegible]
[illegible]
[illegible]

可備
母 喜三郎
[illegible]
[illegible]

能勢甚太郎頼圓ニ嫁ス後松平安芸守正信ニ再嫁
同年十一月廿六日卒法号孔照院了代妙勇大姉
左衛門ニ嫁後離縁シ一男一女ヲ生ム継母安藤氏
能勢氏之嫡 竹田見之丞守親 寛政十一年
十月嫡女トナル之男子無之ニ付可継ト為養子
妹嫁ス安藤正信門殿為宗源内忠徳義兼ヲ以テ為之息
享保十年能勢甚之丞十年歳十九三月卒
号養嶺院殿梅山義秀

女子 母
寛政十二年二月十八日病死可継之妾

女子 母
同上

可績(ワリ) 文之助
実父某
某母 同名能勢甚兵衛 嫡女 実母九条可修治
寛母 某之嫡女
天明二年壬寅十月生 寛政十一年十二月
安永六年丁酉十一月十七日病死ス法名 本因院殿無得
右之者御届申上候

京都西町奉行　前奉行　菅沼　当番　新見伊賀守

寛政十一己未年十二月　支配　未十八　今泉文太郎　五

未十一月廿三日着

佐渡奉行
御預書　□　○　堀田豊前守

原謙

加　添

支配
今泉藤次郎

拙者家筋之儀 先達而書出候
趣相違無御座候 右之外書載
丹波篠山家中ニ而御座候 拙者儀
ニ而二付 寛政十年罷出ニ付
御座候 以上

寅四月廿七日
今泉又八

清和源氏
今泉
本国丹後 父 持高代孫 今泉源吾
実ハ二男 今泉吉綱
生国播磨 丹波国ニ而出生 今泉
出生寛政 四男 今泉仁作
家紋 丸ノ内三ツ柏
替紋 丸ノ内十六菊
幕紋 五三ノ桐

元信　初小治郎　　金森内匠宗

母　同女

万治三庚子年誕生

同十五甲寅年

御目見仕

猿楽師
台徳院様

同十九□寅年　同二十乙卯年大猷院

御隠居可定与同四仕候

同年見物宝宮寛永取同三十余人

御仕

元禄二丁丑年四月郎□□□四十歳

某　深谷伴右衛門　　居　郷右衛門

妻　後離別仕候　　同国豊後守家臣

重直　　金森彩女

母　同女

実同姓出雲守　金森出雲男

寛女二乙丑年三月養子仕

同年六月十日二十三

同二戌年十二月十五日

大猷院殿御部屋住御右筆

御目見之仕

同年辛卯年御勝手方御番仰付

其後寛文年中桐間御番年交代

明暦元乙未年五月十五日死 二十九

葬於 号 德巌宗因

近藤

寛政　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　養子代

寛政　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　花京

寛永 寄合衆 新番 　　　　　　　　　　　　　　近藤兵部少輔

明暦元乙未年五月十五日養子仕

同年七月廿六日家督

厳有院殿御部屋

御目見之仕

寛文元辛丑年四月御勝手方

御番之上寄合番年交代

元禄元年未年七月廿八日御奉行

新番組頭 相勤 上山上

御留守 　仰付

同十丁丑年六月十六日出雲守新番

後ニ山崎丹後守ト改ム　江守
別川猶潘年家督
享保十五庚戌年隠居改ス
同十六辛亥年十月廿九日死八十歳
葬於浅草新堀村慈恩寺
号一行院　幽軒崇月
妻　土井大炊頭利重妹
元禄六癸酉年十二月廿七日死
渋谷祥雲寺ニ葬ル
号清徳院殿禅宗法

某　早世
母同妻
延宝二年生
延宝五丁巳年五月廿八日死
葬同所　法名
号寂照院月信

女子　早世
母　土井大炊頭利重妹
延宝三年生江府
同七己未年八月廿八日死

無爲 深雲祥雲寺

号 慈光院月湘妙清

近郷 始徳之代

彰安

母 上月

天和二壬戌年生 江府

享保十乙巳年九月廿四日死 四十四

法名 深雲寺

号 覚巌紹證

忠知 始深之丞

貞享二乙丑年生 江府 母 本多

本多織部

深源寺忠豊嫡子

元禄十五壬午年 月 郡死 十八

法名 深川海福寺

号千秋院樹山月秋

某 早世 猪之助

母 前女

實ハ 深雲寺 彰岩二男

享保十九甲寅年十月 書院仕

同十四己酉年四月十二日死

法名 深丹院上徳無庵

号　実父紀伊白急　知蓮

可英　左京

　右備　権九郎

母　右同女

実川北権之丞　可澄次男

享保十五庚戌年八月廿九日出生

同十九甲寅年十二月十五日

右従拝領
後信通

御太刀一腰御馬代指上被為

御目見仕前之通寿出礼仕候

同廿二丁巳年五月中隠仕

享保二十乙卯年二月十五日菊之経寿向

出礼仕

元文元丙辰年四月廿日御所ゟ御

渋川郎左衛門仕儀ニ付交代

宝暦八戊寅年十二月廿三日川北之郎

依　御用順作ニ

右上司郎大膳之丞利雅ト御改名

御手沢左京衛門年久蔵関ノ丞

之子右二付と之奉願候処不及其義

之如勅ヲ仕　御用

同九乙卯年六月十日依願地方小南條
郡之内三箇村八之丞郡内四ヶ村
三ヶ所
明和四丁亥年四月五日願之通御番衆
南條郡白浜ト改其後信濃國年
文代仕
安永三甲午年三月廿日於江戸卒九
法名　潤台　祥雲寺
号吸江院其山沼胤

可威
小兵衛

母　某女
右小兵衛嫡女某嫡子孫左衛門男之後
嫡子ニ仕立候
明和二乙酉年二月廿日　御目見　打中
同年同月ニ家督
同年十一月八日御番入　　仕
寛政二庚戌年六月廿五日於江戸
於白浄死四十六
葬於白浄　仝前寺
号賢義秋相覚威鳳

女

妻　関小十郎政辰妹　嫡子主膳母
離別後

十二月六日死去　行年八十

母　右同女

小笠原與八行沢嫡子　小左衛門

寛文十二壬子年　右衛門離縁後

近忠　式部　九兵衛

母　右同女

嫡子ニ十三歳　病身故嫡子ヲ除

延宝五年　嫡子付く

安永三甲午年六月廿六日家督

同年十二月廿六日

従明　源八郎

孝恭　縫殿

同年十二月十六日　御書院番一勝　代官ニ被

同年一勝　代官ニ被仰付

同月　人付

同八巳亥年四月　御書院番上所

御番　自分　儀　御年交代付

天明八戊申年四月十七日　死　行年四十

葬於　深谷　祥雲寺

号 明光院大通英蓮

市蔵 ─ 始六蔵 ─ 権治郎

元禄二年生早世

一 通 母上同 始七之丞 滝川六之丞

西丸小性組頭井上伊予守組 滝川八郎

一 右二

元禄元辰年 十一月 寄合 番 書院 被仰付

同年十二月廿七日 御目見 仕

女 早世

母上同

寛延己巳年 誕生

宝暦十二壬午年二月 死

葬深川 号 明 心室祖空

女

母某女

牛奥ノ番 丹羽久之丞正胤妻

宝暦 女 妻 住

宝暦十三癸未年 十二月十八日 妻

同年十二月 御目見 仕

道興　始源蔵　左京

母某女

初從天明八戊申年十二月十一日西丸御書院番

同年十二月廿三日御花　御書院番一組に成

金五枚切米廿俵以後被下之

寛政六甲寅年十二月十五日御

附用人となる　御番組一職にて式仕る

被下之

大納言様　御附被下之

寛政七乙卯年四月十五日初而御目見並別ル

御前にて[illegible]

妻　太田隠岐守資信女

寛政元己酉年二月十七日丹波守某

妻にて同年四月十六日[illegible]　御目

源姓信

女

母某女

寛政三辛亥年九月十八日松平信守

女
母某女　　小出伊勢守英亮妻
小普請道庵九京之範之節
寛政六甲寅年二月十六日右兵衛佐中務殿
酒井左衛門四年七月廿五日　　河守

女
母某女　　松平采女正妻

某
母　　本田遠江守資信妻
九歳

寛政七乙卯年九月十六日出生

女
母上同
寛政九丁巳年四月廿七日出生

右之通リ御座候

寺三子不
本多鍋次郎
生田盛之　　本多能登守
黄前田野河

享和三癸亥年四月　金森九京　二十九
判

未十一月十六日
近藤済次郎出

傳奏衆口
近藤長蔵
○ 為[illegible]写

系譜

御小性組
近藤済次郎支配
近藤[illegible]太郎

か

清和源氏　支流

家紋　鏡白花菱
幕紋　桐　菖蒲所
本紋　桔梗　花菖蒲所
替紋　亀甲　之桔梗

今井氏出雲守六男　権之丞　左右衛門　重雲
重之儀

母　石川(?)因幡守(?)…女
妻　山村(?)…渡辺筑後守正女

寛永六己巳年生　初拝謁…寛永…年御…
大徳院様御代…万治…御目見…
寛文…御小性組…

延宝…年…河上…依…割
人…被…寛文…申年
四月…御小性組…新規…
寛文…十…年…二月…
常…御…寛文…
…年…十月…
七十二…

某
　母　渡辺氏女
　行…
寛文二壬寅年…
…年…

葬麻布[illegible]寺号[illegible]院浄[illegible]今有之

宣卿　母　家女　同上

寛保二戌年

清揚院殿御附人御[illegible]之[illegible]大[illegible]合[illegible]其[illegible]

貞享三寅年御目見入、同年辞之、文化九子年

十月廿六日死、葬[illegible]源寺号雲[illegible]院宗[illegible]信士

右[illegible]

宣徳　母　妾　同上

寛延元辰年六月[illegible]日[illegible]十[illegible]年十一月十[illegible]日

[illegible]年[illegible]月[illegible]日　御目見、寛延元辰年二月十[illegible]日[illegible]

[illegible]元[illegible]御[illegible]出仕[illegible]年[illegible]月[illegible]日[illegible]

[illegible]享[illegible]年[illegible]月十[illegible]日死[illegible]

葬[illegible]号[illegible]院[illegible]輪[illegible]信士

可邑　母　同上　八月[illegible]

文[illegible]子年[illegible]御[illegible]奥[illegible]御[illegible]年[illegible]月十五日

六[illegible]御[illegible]御[illegible]　[illegible]

[illegible]七[illegible]　[illegible]

[illegible]信[illegible]

文[illegible]申年[illegible]月[illegible]日

文昭院殿御代寛[illegible]御小性組[illegible]年[illegible]
享保五年[illegible]十九日卒 年[illegible] 法名[illegible]

女 母同上 [illegible] 茅野[illegible]妻

女 母同上 佐野[illegible] 英暉妻

女 母同上 松平[illegible]家来 [illegible]妻

可沢 権之丞
母 上原武女
妻 [illegible]九郎常忠女
天和二戌年生江戸 貞享三寅年十二月十五日御目見

元禄[illegible]父[illegible] 元禄十五年[illegible]月[illegible]
小田切[illegible] 正徳[illegible]年[illegible]月[illegible]享保
[illegible]父[illegible] 享保十六年六月十二日卒 年五十
[illegible]号[illegible]院[illegible]

女 母同上 [illegible] [illegible]妻

可信 権之丞 宋[illegible]
母 [illegible]女
享保十六[illegible]年[illegible] [illegible]父[illegible]
元文二巳年十二月[illegible]御目見[illegible]
[illegible]

本多中務大輔[illegible]養女 実ハ[illegible]
[illegible]
元文[illegible]年[illegible]
[illegible]
十月十六日[illegible]
閏[illegible]十[illegible]二[illegible]年六月二日卒六十九歳
門[illegible]

可英 左京
享保十六年八月十四日[illegible]近侍[illegible]

女 夭

女
[illegible] 南條[illegible]

女 夭

某 八郎 夭

某 辰郎 夭

某 左門 夭
母 同女

可始 [illegible] 左京 [illegible] 可直
母 同女
妻 [illegible] 本多[illegible]政醇女
寛[illegible]年[illegible]月十[illegible]
[illegible]年[illegible]

寺社御役人中本年十一月廿一日申上候所
上意之由ニ而御達二日限、宝暦十三未年二月十六日書付を以
御成之儀ハ差支候ニ付、御尋之上、御内意之通
御承知被遊候、年来御手之事、御尋被成候ニ付
御庇之儀御願之通御聞届候、御糺之上
主年三月廿一日被仰出候、御成之節御上覧之面
馬場ニ而御覧之事　右之御場所ニ而年十一月廿日
願之通被仰付候、尤御部屋並御用御聞届被仰付候
御用之儀御尋之上、右之御同所、年ハ日光御参
二ヶ月十三日被仰出、年中六ヶ年一統右年
御手当　上意之通、右御代御願之通御手当

被仰付候処、御手当被下置年十二月廿一日一統一ヶ年御手当
被下置候　御直一統被仰付候　上意之通
御上奉行所御用向御礼御用　御手当頂戴
御手当被下置年十二月廿日　右一統一ヶ年
御手当被下置候　御直一統被仰付　右之通御代
御手当ニ付御手当之通　御礼御手当御願之通
右御同所年七月廿日　右一統一ヶ年御手当
被下置　御直一統被仰付　被下置　御手当
御手当御願　御手当被下　年十二月廿日
御礼御手当被下置候、御同所御願之通
代官御手当之年十一月廿日御手当

同月某日病死

広命　母　坂部之妹
　　　　　同女
此家ハ延宝年中ヨリ同断絶ニ付其後断絶之記
坂部六右衛門広昌養子

可豊　母　同
千葉庄介養子　実家ニ而病死

女二人　母　同　早夭

可元　基次郎
母　斎藤氏女
壽ニ而　吉田大和守支配番方女
安永二辰年十二月朔日初而御目見　中奥御小姓
御番入被仰付　同七年十月廿六日御書院
上覧弓馬相勤　同八年十二月朔日御番之内
寛政元酉年九月五日御小姓組番入被仰
付同二戌年同月某日御弓之御稽古相勤　上覧之
節為御褒美銀子被下　同四年十二月上覧
弓馬之節見物被仰付　其節御褒美被下
上覧之節弓馬一流御射　上覧之上御褒美
被仰付　寛政七卯年六月朔日
御小姓組　御近習　同月朔日御腹痛

西ノ門[illegible]上 上京[illegible]病
将軍上京ノ病[illegible]御門ノ年十月[illegible]退番[illegible]
[illegible]安芸守[illegible] 寛政九巳年
可十二月[illegible]御 上意ノ[illegible]御門ノ年十一
吉騎村ノ流 上意ノ[illegible]十七日[illegible]
寛政十年九月十五日 大[illegible] 上意ノ[illegible]

可陵
母 同上
[illegible]

可[illegible] [illegible]三[illegible]
寛政[illegible]年[illegible]
御[illegible]年[illegible]子

女
母 同上
[illegible]

女
母 同上
[illegible]

女
母 同上
[illegible]

女
母 同上

某
母
[illegible]氏女

右之通り差上申候

高七百石　当院分　本寺支配

相田偏所ニ付

宇十郎

寛政十一己未年十二月

宗長右衛門　印

未十二月廿八日
仙石沢右衛門殿

信濃源氏
七万五千石
○　□
播田兵部

京禮

加陳

宮城郡
仙台法蓮院
宗長右衛門

清和源氏
本紋
先祖成氏ヨリ新八郎ニ到ル迄代々信濃下
略ト存候て
蔦之紋　吉祐所　桔梗
家之紋　内外
釘之紋　亀甲之内花菱　丸ニ杉
本家宗安兵庫近二男　信濃国信濃下[illegible]御旗初新八十近江
本義五郎兵衛尉長近代　信長公御旗一字
本家宗義二男

重勝　初名[illegible]　[illegible]
母　[illegible]

書　某
寛永十五年生之
大坂御陣御供　[illegible]年妻[illegible]年十一月[illegible]
信濃院御[illegible]　[illegible]
[illegible]年十月
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
九[illegible]年十月[illegible]
[illegible]

可邑（アリムラ）小左衛門

母　渡邊[illegible]某女

元禄十[illegible]年六月[illegible]父か遺跡を継[illegible]

[illegible]

[illegible]可邑[illegible]

[illegible]

女

母　同

[illegible]

[illegible]

可郷

六左衛門

某　[illegible]

[illegible]

母　某女

妻　江戸町人[illegible]英輝女

後妻　[illegible]　野田[illegible]某女

寛延[illegible]

延寿[illegible]

[illegible]

[illegible]

文明院[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

享保六辛丑年八月廿七日跡式相続
深谷彦右衛門与力同心相勤正徳三巳年
同年十二月相続仕候享保十二丁未年十月
十七日病死四十四歳葬同寺号一
同年相勤候同寺号宗縁居士
同村字土屋村

享年七十五歳

宣信 初名之助 小大作
母 妻女
元禄十一戊寅年生宝永乙丑年六月
某月死五十二葬同寺号宗源
可信
母 初名之助 助馬
河原某女
宝永三丙戌年生寛保元辛酉年
可信相続仕候
享保二十年葬同寺号蓮誉了入樹宗信士
可治
母 源右衛門
妻女

寛永七庚午年生、同居少保十五庚戌年六月廿日卒
大一葬門寺号寿隠院叙岸玄照

可隆　多之

養父　可之
実父　松本寄合近藤金兵衛可重三男
実母　同家
実ハ丹伊佐伯田夏福居右衛門女、円山七右衛門永昌女

妻　養父可郷女

元禄七甲戌年生、同居少保十七年可隆遠領
寛延二己巳年十一月八日卒
同年十月廿四日仕官後、元文二丁申年卒、八十二十九歳
仕保月寄相

女　同母　養子可隆妻

女　母　某氏　野中彦右衛門某女
早世　同上

女　母
今井某右衛門可郷女
林金右衛門可郷某女下某

可端　多久
錦婦　妻　某豊　某婦　某右衛門
養父　実父　宮本錦四郎野錦四男
実母　同氏女

壽　　養父　河原某女
延享元甲子年二月十六日生江戸ニ而二十一歳年
於大奥上臈年寄高岳附ニ而罷出其後御目見被仰付
宝暦紀元[illegible]正月朔日[illegible]御中臈被仰付
浚明院様御部屋ニ而[illegible]
御目見[illegible]御部屋様[illegible]
以来御部屋様と奉称[illegible]
御部屋様御寄附[illegible]
宝暦十二壬午年十月廿五日於西丸
[illegible]

孝恭院様御誕生ニ付而御部屋様と奉称

無[illegible]御[illegible]
[illegible]同年十月[illegible]
[illegible]年[illegible]
明和元甲申年七月[illegible]
[illegible]九年[illegible]
十七日[illegible]
[illegible]天明元丑年[illegible]年十月[illegible]
以[illegible]
[illegible]
[illegible]百[illegible]
[illegible]寛政四壬子年七月五日

其後失火仕候ニ付　元禄元辰年右屋敷
有之一間新道ニ而　元禄拾五午年ニ屋敷
町家ニ罷成候　但右名主常盤橋
其外両隣右境之儀ハ　元禄拾年御防火
以来元禄右屋敷並右衛門ニ相成候
所ハ古来ゟ此ノ町ニ而古来ゟ有之候　同月
右ヶ所其外小田原町ニ而御役人
西ノ方元禄九年　右地所八月迄ニ右衛門江
被仰付候同月ゟ家業ニ而拝領仕候
ニ而右衛門江譲渡候　右名主相勤
年　九月廿日一橋町　元名主右衛門

小川町播磨赤井兵庫殿屋敷ニ罷成候
元禄年中　元禄五年　玉野
屋敷跡　讃岐様屋敷之内御用地　讃岐殿
門八右衛門年々拝領地　屋敷山口殿
右場所　御上地ニ罷成　元禄年中
之内　囲込屋敷之儀　被仰付候
延宝年中ゟ　同年之通　囲込有之候
并其後同年十月和泉　地面　一所ニ罷成
囲込屋敷之内ニ建続有之候
小川町之内ニ而　元禄六年之頃
之御屋敷ニ罷成候

享保十四年依願養子被仰付
部ニ而願之通被仰付候
寛政七乙卯年十二月五日病死法名

貞寿

養母 同人
実父 其方
実母 同断

某

母
鶴菊 早世
寛政六年六月十日卒

明和二乙酉年六月十七日生同八辛卯年
同人
寛政
某
十二月
実父

政樹

養母 同人
実父 某河内守政宗二男
実母 某女
德

丁巳年ニ初而御目見ニ　仕候

女子　母某子沢樹妻

母同前　〔?〕可論院女

在安家譜家嫁ニ而後某子兵庫妻

某嫡子清兵衛ニ嫁ス

右書面之通ニ候以上

寺〔?〕　武蔵〔?〕　五百石〔?〕　五十〔?〕

高〔?〕　某〔?〕　長谷川〔?〕

寛政十一未年十二月

生年五十三　左〔?〕〔花押〕

未十二月十八
山口勘兵衛殿〔?〕

源氏
七百石〔?〕　生年三十五　□
○　塚田吉右衛門〔?〕

源

加〔?〕

系譜〔?〕

小普請組〔?〕
山口勘兵衛支配
倉橋〔?〕[illegible]

清和源氏　今泉

源頼光後胤出大泉職之後
右京亮実将誉之孫今泉右京女
定通娘女田出今泉邑号ク住今泉
氏改

幕之紋　亀甲　五枚笹
替之紋　亀甲　重梅
笠之紋　五枚笹

今泉右京亮定通二男三郎兵衛安定　藤原氏
[illegible]

八男
可俊（アリトシ）　辰之助　五郎

母某女

妻某女

寛永十五戊寅年江戸ニ生ル

大猷院様御代

慶安三庚寅年十一月廿一日出仕

新規ニ百俵三人扶持蔵米

寄合御小性組

延宝三乙卯年九月廿一日死　年三十八歳

法名浄岩祥雲　号殿山蘇宗通

年月ハ不知麻布宮村ニ在寺明

其後仙台浜御殿地所ト御成ニ

寺移ル

可棟（アリムネ）　幼名勝之助

母某女

実ハ源五郎女

寛文六丙午年江戸ニ生

延宝三乙卯年九月廿一日父可俊遺跡

同六年何月同日小普請ヘ

元禄二巳年[illegible]常憲院様[illegible]

宝永六丑年[illegible]

正徳元卯年[illegible]

[illegible]

[illegible]

享保二酉年三月廿七日死 七十三

[illegible] 号簡伴紹敬

某 母同 [illegible] 早世

利隆 [illegible]

母上同

享保五庚子年[illegible]歳

[illegible]

宗業 母上同 [illegible]

[illegible]年[illegible]歳

[illegible]

女子 母上同 [illegible]妻

可部 八之丞 大谷

養母 長谷川氏 太田周防守某女

実父 同 申井六左衛門某之二男

実母 菅沼氏 深尾八左衛門某女

妻 同 菅沼 某田中助 娘 納女

寛永十四年 江戸 生

元禄六甲年六月廿七日 貴父存命 家督

同日召出 御番

享保六年六月 晦日 御番 入

同日 右太原氏 御番組 入

同五年十月九日 ... 御番 ...

同十七年六月朔日 ...

...

元文元年 ... 丁 ... 三十二

葬 ...

享保 ...

之丞 ...

...

享保 ...

... 代 ...

浦服傳
享保三年十月六日大番組頭被仰付於御役所病死
喜多賢（ニトカタ）八十郎 後改 太郎 元禄年
女 山口氏ノ女 柴田甚卿勝安妾
嫡 喜多梁作へ氏 浅野源左衛門妾
寛延五年十月六日病死
妻 石橋之氏 在友兵衛 則房妾
享保十八年十二月廿日
元文元年十一月十日 同 五十五中番

大浦服之傳 小普請組 大番頭 喜多卿 病死
延享元年十月十六日 書院番
手前 田安 御番 附
門二世 年十月十九日 書院番頭 番
正徳 病死
門人 三郎 門梅 濃守 病死
大関之梅 与 阿部伊勢守組
寛文 十年 十月 郎
大門 源右 与力 附
門人 乙年

大門所務役　寛政同年八月十六日被仰付
之二勤　御番出席致　十五日初而
并ニ病気ニ付御免
同十一年　年廿一才　拝領
若党格ニ而　所作方役相勤候ニ付
安永八亥年　十一月廿日
若党組格役　寛政同年閏六月十六日被仰付
之　右之通　御番出席致　十五日初而相勤
同役之度ニ付御免
天明元丑年　十一月廿日

若党格ニ而　所作方相勤　大番主役度々
御免
同六年正月廿日
後役御徒組役　寛政
大門之儀　所作方相勤候様被仰付
同年同十一月十九日被仰付之
当役出番出席致　十五日初而并御神事御時節度
松平備中守殿ニ付御免　御徒番頭被相勤候
之候
寛政二戌年正月廿日　前役ニ付　御免

少々杉原家ニ被成候同人ニ渡
同月十五日内々御沙汰書来被申渡候之
同七年十月七日若年寄衆依御沙汰候
其節同月十六日拝見翌年十一月十五日
少々御内々御座候金子被下候去月
御申渡候御使者御沙汰当日拾
一統之文
文政元寅年正月吉日大貝田藤之丞当国
去十月五日山形家中御屋敷ニ而被下
年紀

同五甲申年二月廿日御届之由ニ而
安政三辰年八月小普請組頭西尾隼人
一統之内嶋田権之丞其山形家中安藤
高橋三郎兵衛封年来
同年十月廿日御沙汰之通御沙汰
私青山形家中御国役義
宝暦五亥年正月十五日被仰付
同六午年五月十日同断
同十三未年正月十五日同断
御相七寅年十二月十六日

安永六酉年正月廿日右同断

寛政四子年流鏑相勤 御本丸御書院番

仕候、弟子年々出精仕候ニ付、文化五辰年三月

同六子年十月於 [illegible] 一流相傳仕候

金四両被下置候、御本丸上覧之節

西丸御書院番 御本丸上覧仕候

御本丸七丑年右西丸御書院番 金八両被下

仕候、土巳年於 [illegible] 御書院番相勤

仕候、同十三未年 [illegible] 仕候 上覧之節

銀 [illegible] 御本丸 [illegible] 流鏑相傳

[illegible] 御精勤 [illegible]

天明八申年 [illegible] 御書院番 [illegible]

入 [illegible] 仕候ニ付 [illegible]

[illegible] 月 [illegible] 御書院番 [illegible]

同人 [illegible] 之節 [illegible]

母 [illegible] 娘

寛政二酉年十月 [illegible] 御 [illegible]

[illegible]

酒田 [illegible] 書

女子

母 [illegible]

[illegible]

女子 同藩臣 依田五郎通久妻

女子 母同 中奥番 谷小右衛門忠篤妻

母 家女

可宗 初名乙之助 勝登 號意休

實母 太田善之丞某女

實父 阿部番須田門弥某男

實母 某氏女

明和六己丑年七月十五日 ……年十五子子……

八月十八日……

安永六丁酉年七月十五日……

……

……

可孝 友次郎 早世

母同女

吉應 母同

母 同女

寛政八丙辰年三月二日……

……

女子

母　同女

右娘義当未六十五才ニ罷成候、先年松平遠江守殿御組
御徒士組頭相勤候[illegible]江縁組仕候処
[illegible]寛政六寅年
十二月廿五日離縁仕、同年[illegible]新[illegible]
江縁付仕候

養女

母　[illegible]

実ハ井上左兵衛[illegible]女

[illegible]細田[illegible]妻

養女

実ハ倉橋[illegible]門女

[illegible]妻

女子

母　同女

早世

右之通御座候以上

寛政十一己未年

倉橋[illegible]（花押）

[illegible]殿

[illegible]殿

末十二月廿五日
播州姫路藩

系譜

順和屋氏
七百五拾石
女
播磨守

源
姓

右之者
播州姫路
宮田武八郎

須和部氏
去役

養父 桐倉彦兵衛
實父 森本源次 梧山佐兵衛 寛彦兵衛
祖父 藤甲 弥右衛門

宝暦元未年六月 始賞与 八石五斗

可邑
奴 御使番 後藤伝兵衛妾
嘉 無し
安永二丑年生 江戸ニ而 寛政九巳年十月 召出
御次仰付 御奉公相勤 御同所 ...
未年迄年六月 ... 御所 御下郷 ... 御用
百俵 ... 年 七月 ...

保田 ... 御小性組 ... 年 ... 月 ...
... 百俵 ... 元 ... 申年 ... 月
... 御 ... 女 ... 木 ...
... 年 ... 十月 ... 大久保
... 久 ... 保 ... 年 ... 限 ...
... 年 ... 八十 ... 二 ...
... 見 ... 男

可鄕 ...
奴 ... 女
嘉 ... 御 ... 七 ... 妾
延宝 ... 年 ... 月 ... 大久保 ... 年

十二月三日 御目見之、元禄七年十二月朔日
部屋住ニ而御広敷御番被仰付、元禄十六未年
四月九日御目付代、宝永元申年十二月十二日
西丸御小姓組御番入、正徳元卯年[illegible]丑年
十月九日御留守居番、享保十三年
十一月十六日 有徳院殿 [illegible]
直 御目見 同年[illegible]
御書院番[illegible]、享保
十三申年十月[illegible]寄合[illegible]

可存
母
同上
円山七之丞女

寿
布施孫兵衛
円山[illegible]
宝永[illegible]年[illegible]享保六丑年
七月朔日 御目見之、享保十三申年十月廿六日
享保[illegible]年二月[illegible]
同年[illegible]十二日 有徳院殿 御目見[illegible]月
十二月[illegible] 御国[illegible] 御目見之、元文三
年十二月朔日[illegible]

可言
母
同上
[illegible]
元文元年[illegible]十二月[illegible]

可隆　四　同上　生母某氏
享保十七年壬子六月[illegible]生[illegible]

女　母同上
大河内氏
山田伊右衛門妻　某妻

可詠　為之進　母隠居[illegible]
養母　門山氏女
実母　門山氏女
実ハ[illegible]
妻　[illegible]　野村[illegible]女
[illegible]
正徳三巳年十月[illegible]生[illegible]年十一月

[illegible]十二月[illegible]
[illegible]
[illegible]同年[illegible]七月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]山[illegible]
[illegible]

山縣与右衛門昌紀ニ嫁ス 同月十九日〓〓
以之御前ニ於テ 彼是〓〓 寛保二年
同所ニ於テ 同日〓〓 白〓〓〓〓〓
〓田某之〓 山縣与右衛門〓〓 同年十二月十四日 〓年三十五
善門寺号義山観孔

女
〓後八歳ニテ 可致書
母 中山氏女

女
母 夫
〓〓女

可敬
養母 節村〓女
養父 〓〓 〓十〓 〓〓 八歳ニテ

実父 月光院様御用人 三井伊兵衛〓〓〓次男
実母 酒井雅楽頭家来 石井隆〓安伸女
妻 養父可言養女
享保十五戌年二月〓〓生 同〓〓〓〓 元文〓年
十二月二〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓 同〓〓年四月
十五〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓
中〓〓〓〓〓年十二月十〓〓 〓〓〓〓〓
十二年九月廿八〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓〓
〓〓〓〓〓年十七月廿〓〓〓〓〓〓〓〓寺
号〓〓〓〓
養女 実可言女 八歳ニテ 可致書

某
母　某女
一学　矢

可方
八十次郎　八左衛門
母　今井某女
妻　内藤氏山田元陳之孫無着院依田氏某女
後妻　小浜口清　和賀久女
宝暦九卯年九月十二日生江戸人　安永九年
九月六日家池杉　同諸家続之段被米能勤
天明二年壬寅十一月十八日　同国人安永中年
十二月十六日部屋住大御番御番入被仰付

寛政八辰年十月十六日於武州豊島郡
小石川二而卒
寛政十午年九月廿五日家督　八太郎
文化十一年六月度二

女
母　同上
天明二寅年十月生
同姓某　大奥　蓮光院様御二タ
寛政元酉年五月十五日奉公仕
寛政二戌年正月朔日暇罷出
寛政三亥年閏二月十四日一日御剃髪

女　母　夫　笹氏
女　母　同上
女　母　同上
右者四人之者
右書出候　右之通ニ候　小田原新宿
寛政十一己未年十月
年寄　八左衛門
西

未十一月十二日
芦田中貫右衛門

年武
浅野播磨守〇播田男子有　□

東濃

か
江流
平

小倉陣屋
芦田中貫之助
松田数馬

桓武平氏

杵田　本国相模

萬治系図　同十六家譜
繋了

寛文系図　同十六家譜

貞享系図　九三ヶ所不見
繋了

平高望小次郎将門濫乱之也中傳
高カト

杵田之初名初良文代

杵田之正三男

正治　文八郎

母　小十人組　某某五左衛門某女

妻　小普請組　天野御家女

生　江府

寛文御極所代

年月不知西丸御徒一番組より

寛永同役

享保同年

大猷院様御代　御徒帝

清揚院様付ニ被召出

延宝二甲寅年十一月病死

葬　小日向　林泉寺

号慈清院日某寺然

正秀　清兵衛

母　三好蔵人妻

実ハ　和田鉄蔵正之娘

実母　不知

寛永二十年　生　江府

右伝兵衛中沢村ニ而□□申候

年貢未進ニ而出奔仕候　三保村持留

御赦

延宝二甲寅年四月御改相済候

三保村ニ而百姓役相勤

文昭院様御葬送ニ付　入牢人

宝永元甲申年十二月十二日出雲守殿

より　御赦

同二乙酉年正月□□　□□之節　御赦

出牢科之者儀ニ付　□□申候

新町武蔵国入間郡内小谷田村伊兵衛新田村

大久保村日判比企郡□□村組合名主村

御赦

同宝永四年十月　十二日

家千代様御祝儀ニ付　御赦

武蔵国□□郡□□村□□□□村与五郎

□村□□村□□組合八百□□□

家千代様御逝去ニ付　宝永四年十月廿七日

以後　御赦

同七寅年四月□□□□□□□　御赦

宝永五子年十一月□□□□橋上ニ

高家御附

正徳二壬辰年十一月廿八日死 五十一

号宗休 中島白林寺

号清涼院殿良巌永明

女子

実子 池田源兵衛正秀妻

御目見得

正忠

母 久右衛門

池田典太夫正姿

元禄三年 生 武州

宝暦七丁丑年八月廿四日死 四十七

喜川寺 号 葉光院渓山宗信

正照

母 上同

実名 源五郎 源太郎 称ス

妻 小笠原市右衛門信説 次男源太郎正利女

享保十二丁未年十月廿三日死

中沢角右衛門妻 年十八死

後妻 松平弥右衛門家臣女

元禄十二年六月十四日生 江戸

正徳二壬辰年十二月廿六日 御目見 江府

享保六辛丑年二月九日 御番入

同年五月朔日西丸御目見 是者御用
此ハ五代目御代々御預り 御用ニ而
下谷稲村ニ而
享保十乙巳年二月六日青山久保町ゟ出火
ニ而類焼古書共焼失
同九年十月死

有徳院様御代
書院番 神尾若狭守組
同十乙巳年十二月朔日御目見ニ付
同年十一月廿六日 御家督 相続

有徳院様御代
享保十三戊申年正月
御持筒組同心
元文六辛酉年二月十五日御目見ニ付 相続
延享四丁卯年四月十五日御徒組 相続
宝暦七丁丑年五月十二日死 年十九
葬　所 号 正涼院セフカン慈月

女子
同支配与力平田(?)
貞(?)人手(?)二而正嫁

正之　宗安　某

母　享保十二丁未年十月十六日死　美濃部忠利女

継母　杉本忠右衛門某女

寛保元辛酉年九月廿七日

有徳院様御代

御目見仕

寛延二己巳年十二月廿二日部屋住ニ而御小性組番

入其ニ而御番入二百俵被下

宝暦四甲戌年九月跡式無相違被下水

被召出仕　御目見仕候

同七丁丑年十一月六日西尾隠岐守殿

ニ而申渡

同十二壬午年九月跡目小普請御番

被仰付　小普請支配

同十三癸未年十月　比企郡村

御代官　御代官所　内

上ニ而　村ニ而

安永八年四月十六日仙台

老衰小普請

同年家督之上知行五百石之内御蔵米三百俵被下置松平
伊豆守殿ニ而病死
寛政七卯年六月八日 田中勘兵衛死去
葬於浅草東本願寺中徳院 法名 宝樹院以心宗盡

女子 母 後妻同
四谷御門之 土田長左衛門妻

女子 母 後妻同

正賢 母 某女 兼次郎 主膳
安永八亥年十月十日
御目見之儀
寛政二戌年十二月九日致病死
法名仙人御鷹匠組頭又
同八丙辰年十二月十日
菩提所称念寺 所前同所四谷法性清田

正巻（サト） 家妻
山崎長左衛門妻

母上同
天明三癸卯年七月廿九日 年十八
葬深川 号瑞雲院秋林清蓮

正恒 源之丞
母上同

清高（アキ） 若之助
母上同
寛政八丙辰年九月四日書院番松平因幡守組
組与力石谷若狭守組与力
蘭阿小普請組松平屋敷之子

正武 金之丞
母上同
小普請組山口勘兵衛組
大河内丹下太宰妻

女子
母上同

右之通御座候以上

高八百石 武蔵
本国美濃 生国武蔵
居屋敷 四ツ谷鮫ヶ橋

寛政十年午十二月
神田牧馬 七十七

未十二月廿八日
山口縣ニ而下ケ出

平民
弐百十番○口
増田民之丞

先祖書

山口藩從
山口縣ニ出ス子孫
神田平四郎

加
滅
子孫
平

私共作書ヲ以御届申上候得者書
之義ニ付御取調御座候処　私共父
御届申上候　御代田記ホ水府仕
候得共其段ニ　東条都府御届
書様被節之書面ニ相認メ差上
之ニ付而ハ本ニ相成　尤亦徳
底ニ而　私共子ニ而ハ御糺知ニ
東條方ニ而御届書面ニ付

御座候ニ付而ハ右様被申聞候外
病死ニ付御届一通之義右之
者ニ而一向相分不申候得共
右之様ニ付而ハ御集之上
私共不相済之事ニ付　東條私共
御聞之上書面之通之趣
書面ニ而申上候ニ付当時之
普請之節も私共不相済相成
婦女之不埒之始末書ニ而申上
記之通之方ニ而私共書面之

紀方ニ而出入有之婦女之儀ニ付當
書ニ而紀方ニ而も之レ人之書面ニ
御座候ニ付御糺候處右ハ
右書面ニ者左様之筋有之候ニ付御届申
出候ニ付右ニ付候ニ付書付差出
有之候ハ、勿論右ニ而婦女
之一件婦女ニ而ニハ上口無之儀
取調候ニ而右ハ御関所通行
ニ付而ハ婦女之出入之儀不審
婦女ニ付御問合之處可申候

章儀ニ而御聞候ハ、不及申
右ニ付出入婦女之事ニ書面
有之候ニ付今後之儀一切ニ而
差出候処ニ付其儀
一向無之不申ニ付不都合之儀ニ付
此段ニ付不取敢御届申上候
中之儀御承知被成下候書付
御承知候様奉存候以上

巳月　池田□□

一 初代周防将監ゟ当代迄海老海
老守と申ハ門家ニ而相知不申候
海禅寺と申ハ其門人ニ而候
一 平四郎将軍織部平四郎与
と改名年月相知レ不申事
一 江藤正質ゟ右ハ剣術指南
御国ニ而当年歳相知レ不申事

下ケ札
一 海老寺老門ゟ取方書付ニ而浦田ニ而相分
書出ゟ亡海老海寺ニ而承候
一 右改ハ享保十年年頃ゟ高祖迄ニ而
右御免ニ相改申候 御流儀之義ハ当時山家並
中段

巳二月
浦田平四郎

下ケ札
一 江藤正質ハ安永八年ゟ当十七歳ニ而
御国ニ而 御召抱

巳二月
浦田数馬

桓武平姓
氏　神田　本名未詳
先祖相馬小次郎将門之嫡流而後裔
当國府人神田ニ居テ将友ト号長男
四代後住吉村ニ居テ而
藤之助　子之字
惣兵衛　本氏白坂相馬郡ニ居
平兵衛　本氏白坂相馬郡
習之助　紫馬九之国ニ本氏
神田ニ居テ
将友

初代
神田周防守之初代頼信之後胤
寛保年月不知　小田原
母　不知
妻　不知
右初代義政ニ相續建芳在之仕ル
建芳嫡孫ニ權兵衛ト称宗門ニ有
供仕權兵衛ニ成テ其之住居陣屋之衆
民家相州宗門有小田原ニ在武氏家
民政武在之其之往[illegible]

右總州府台合戦之時氏照公感状
其外共二十余通有之共

感状之写

今度於総州国府台遂
一戦之砌別而抽粉骨走廻、殊
敵二人討捕候、神妙之至候
弥以抽忠信之旨、仍状如件

永禄七年
甲子二月廿八日　氏照（花押）
神田三郎殿

當家藤兵衛孫
稲垣備後入道之儀
天正十九年自何方茂不奉公
仕候而此所ニ引籠罷在候
様御代官相勤申候
年月不知年号隠居仕法名
相続仕候
元和六庚申年十二月廿七日病死
武州寺尾海禅寺ニ葬ル
法名海性院月浦道丹

将時　年齢　卯ノ七年
生国武州小田原

母　不知

妻　同断

右倉之所代深町奉行ニ被下津村等日
田前之五兵衛屋敷拝借住居罷在之内営
藤深町割ニ茂相待　蓮沈所
御普請ニ茂石川　八左衛門殿へ分五之
同役ニ将附奉行而普請ニ茂有り

右兵衛二三五年ニ八百五十石ニ而得
系所勤定候ニ付
宝永二乙酉年二月十日死ニ年中
御勤成之趣　仰付候様ニ　右家督以下
延俗有将心之ニ　右家而御代
紀年山大家大浦殿　御普請入将而成
七條多少之病死茂酒歴年五十余年
清心永院沈得遍慶哉

将次　伴田ニ去ル

母　不知

太猷公御代日光　御宮社ハ元和年中御建立
候得共　御修覆御座候　右之御宮ハ大猷院様
御一代ニ而御造営被遊候　御社頭御一代目正室
代ニ　被為

正室
　鷹司様御事　御年記
　生年月
母
　御座候
　御台所ゟ御縁組御座候
　寺西若狭守殿姫君

台徳公御代
寛永二乙丑年□月□日被為
　御誕生被遊候
大猷公　御代ニ而御縁組被為仰出候　御息女
寛永九壬申年□月□日　東照宮御神前ニ而
御婚礼被遊候ニ而　御社頭御修覆御造営被遊候
御台所様
　当年中ゟ　御年月□日御婚礼
御台所様ゟ御祝儀被進候　当年月□日御座候
御婚礼ニ而御伝授被遊候ニ而御座候
月□日御祝儀被進候　御本丸様御祝儀被進候

寛文三癸卯年四月廿七日卒年七十五
葬同所 法名陽岳院葉室道荷

正信 勘三郎

母 生田勘解由の養女 実ハ京極丹後守家臣某女
後妻ハ飛騨守家臣 某田某女

寛永十一年所代 書
寛文三癸卯年十二月十六日父正定の跡を継
寺社奉行小笠原某に属

元禄五年門年十二月廿日大目付
大隅守組に入 元禄十年
同年十二月二日 隠居 号宗節
延宝六戊午年十二月十日同所七日卒
葬同所 法名皓月院照誉玄心

正治 猪之八郎

母 前同

寛永十一年所代
元禄四年 与力 書
寛文十辛卯年

大猷公依御遺命
靖(?)傳君江 被附御側ニ而奉仕廣敷番
従法田中務少輔養子ニ而正之
家督相承

正次　母　横田隠岐
　　　　生実鵜殿
　　　　奥田喜兵衛女

厳有院殿御代
　家督
延宝六戊午年七月十五日父正信家督

常憲院殿御代
御代官小普請 桁蘭(?)同組元禄ヨリ
貞享四丁卯年二月十六日右衛門義
桁(?)共ニ中久保ニ而御番勤ル
二条御番ヲ勤
同五戊辰年正月朔日二条ニ於テ
死去ニ付遺中於神尾門前
板橋舎(?)清寺葬号正林院証宗教

正親　遵
　　沖田織部　卯年七十

母　前同
右正親町氏正明男子　云々疱瘡ニ卒
後子ニ而早世
女子　幼名不知
　淳光道喜善
女子　幼名不知
　小笠原遠江守室
女子
　松平丹波守室
　　後
　元山文京院

正親　初名吉保
　実嫡　生母定子

養母　宗(?)
　飛鳥井雅章卿女
実母　黒田豊前守女
　書　同女

常憲公御代
延宝八庚申年七月十二日　大納言正親
殿御元服之節　老中所知小姓組頭
御目附ニ被仰付
元禄二己巳年十二月　大和守
松平右京大夫ニ被仰付
之由内証方ニ相談

同十八癸未年五月御桐之間番
ニ御番入御広敷御用人
宝永二乙酉年十二月十八日小普請入
井戸対馬守支配 [illegible]
[illegible]
享保七壬寅年五月十二日病死
高輪丁洞雲寺葬
清応寿雲[illegible]

将監
母某 初名[illegible]

養母 無之
実父 安藤[illegible] 武山[illegible]二男
実母 某女
妻 養父 神田織部正正親女

文昭公御代養父正親家督[illegible]
遠く[illegible]
正徳元辛卯年二月十五日小普請入
[illegible]

[illegible]中 [illegible]

有徳公御代

享保七壬寅年八月十二日於大和守
之内ニ高田馬場ニ而御書院
御番頭衆被仰付ニ入ニ付矢来之
不記ニ有之

享保九甲辰年十月九日大和国楢村
大(?)作右衛門ニ而入来小右衛門
青山大膳亮北面御留守居
新井村ニ而二百石余八石九年御林
門外ニ而[illegible]村ニ而[illegible]

元文九年五月ニ而御鷹仕事ニ付
[illegible]御[illegible]
享保十一丙午年御鷹匠ニ付
[illegible]楢村大作ニ有之
同年五月ニ[illegible]御[illegible]
ニ而[illegible]大作[illegible]ニ有之
御代官[illegible]ニ而大[illegible]
国[illegible]御[illegible]
二条御書[illegible]
右御[illegible]秋元[illegible]ニ有之

元文五庚申年十一月廿八日三歳病死
法号寶葉凌天院松巌行秀

女子
右女子 柘田主膳将富之妻
享保九甲辰年四月廿六日病死仕候

女子
母 同母
柘田主膳将富妻

女子
母 前妻
新番頭 宗居 後妻
杉浦十左衛門妻

女子

母 某女

将嘉（ヨシ）
生国武蔵 年七歳
母 柘田織部正親女
妻 四番組 五郎 遠見傳甲斐守息女
右妻不届付離縁仕候年月不知

有徳院殿御代
元文五庚申年十二月廿六日父将富
家督相続仕御番入松平伊賀守

阪信之小普請行中間病気ニ而死去ス
寛延二己巳年七月十六日養父家督被仰付
不及候
宝暦三癸酉年二月廿六日父各田与左衛門
死去ニ付
宝暦十庚辰年九月十九日妻某病死
死去ニ付
明和元甲申年九月廿七日大番頭組ニ入
松平大隅守殿支配阪信之福恒之組ニ入
入右御番入病死仕候

明和六己丑年九月十三日小普請入松平
采女殿支配ニ成候
同八辛卯年十二月部屋住外孫能之
名前病気有之候
安永元壬辰年十二月七日隠居被仰付
松平因幡守殿支配ニ成候
同九庚子年四月十五日隠居病死仕候
葬号瑠璃光院皓月照三居士

格範　半次郎　御番入小普請入父家督惣領

養母　同し

実父　松平越中守家臣
神山甚右衛門秀周二男

実母　松平越中守家来
中野清太夫盈興女

妻　小笠原備前守家臣
高橋親良娘女

浚明云　御代官養父杉坂大夫家稲垣長四郎為養子
前御代官ニ而男子
無之候ニ付同氏又従弟之続ニ付
養子仕候
明和四丁亥年十二月六日初御目見年

同月廿九日養子ニ　御付松平右京大夫殿
ニ而浚明儀稲垣長四郎江御預ケ被
仰付候養父杉坂二条御番御用ニ付
同年閏子年二月十日
御目見仕候
明和九壬辰年七月十四日小普請組
無役取扱之砌ニ付父杉坂病気ニ付
浚明家督被仰付
安永元辰年十一月廿七日浚明儀小納戸
上御代官年間御役被仰付小普請組

呉服所紀之儀
安永二癸巳年十二月晦日 右同断
西丸ヘ 御用達被 仰付候
其節御目見仕候
安永八己亥年 四月十五日 老中ヘ伺之上
伺之上
同九庚子年 二条御城 御用 仕候
天明二壬寅年 二月 御目見 大納
上様ニ御用達 被 仰付 二付
相勤候

同六丙午年 二条御蔵奉行被 仰付候
西尾隠岐守ヘ 御目見 被 仰付
銭御用 被 仰付候
寛政元己酉年 六月廿二日 酒井隠岐守殿
御役 御免
同二庚戌年 十二月廿日 酒井 様
被 仰付
同 壬子年 二条 御蔵 奉行被 仰付
右御用 仕
同六甲寅年 二月 御建 御用 相勤

於同年十二月九日 依所病氣ニ付
也 勝手ニ付 御番御免 小普請
入 仕候
同七乙酉年十二月二日 於同所 年七十
十九日 御目見 安房守殿 被仰付 [illegible]
同通 被仰付 小普請 組頭 [illegible] 又

将
勝 武山仙安
生武家 其年 御代々 [illegible] 信濃守二男
母 妾

宝暦 [illegible] 男子 安之 私
養子ニ仕 同生 [illegible] 相續
男子 [illegible] 男 [illegible]
宝暦乙亥年 二月八日 [illegible]

同年 七月十七日 御番 [illegible] 病
[illegible] 安房守 [illegible]
忠勝 [illegible]
宝暦八戊寅年 五月十五日 忠勝 [illegible]
[illegible] 願 [illegible] 制
[illegible] 制 [illegible]

寛政十一己未年十二月九日出生依年
不相知候ニ付右之不申候
同十二月廿八日御届申上之

林 脩
実父林大学頭述斎二男
江戸
武山仙安 丑年廿歳後見家
実子無之ニ付養子ニ仕候
同書ニ前書之通

林 興（ヨキ）
実父林大学頭四男
林田求馬
林家實子無之林興養子ニ成候

實子
天明八戊申年十月廿五日出生
寛政元己酉年四月十六日御目見
相済同年七月
大坂御番所ニ於テ
同月九日ニ付
同二辰戊年二月十七日
上総國 御番 御役
同之年 八月分 学問出精
遂 上御文 ケ條ニ付

一

一

云々儀ニ付而者松平壱岐守殿御
至若君様御附
同壬子年二月十四日大納
言様へ被為附　御前様御側
同年二ヶ条御申渡之
同六甲寅年十一月十九日
上総国射表為取　付常溜御
役介相続法名
同七乙卯年二月朔日　於小倉京御仏殿
右ニ付御追遠法事被仰付

一

一

還俗後一流庵　同後同年出役
仰付候之後御役御免之後
同九丁巳年五月十七日死去
去ル間御用被仰付而
京女忌服ニ而御法会之儀ニ付
御役料并之通相勤　同年十二月
十八日御右ニ而御用向御申付
西丸御老中松平伊豆守殿
松平左京大夫殿江書
一
女子
右女子ハ幼年ニ而病死由須田使者申候

然ル處右江戸田邸ニ於テ牌を相定ル事占
御役仕奉候
天明五乙巳年十月十五日御和門年
十二月廿六日 御代官田沼主殿頭様
同六丙午年二月廿五日 ...
御勘定相勤候
寛政二庚戌年十二月廿四日御役上
新番仕候
寛政六甲寅年四月 ... 前田
安房守殿組へ被仰付候 松平源之

牌 松平左京大夫殿組 ... 門
五月廿七日 御代官 松平伊豆守殿
5 御座候
四兵衛
津田半兵衛
女子
右者是迄之系譜 以上
高尾(?)... 両目付衆 ...
寛政十一己未年十一月 津田半兵衛
未 ... 歳

申正月廿二日
長崎奉行へ差出

年氏
呉為麟七歳 口
○福州軍ノ子

覚

加平

右之者長崎御奉行所
沖田三平殿へ

平姓　林田氏　本氏未詳

人皇五十代桓武天皇末流未詳ニ付而ハ於関東流

武家之先住人林田与右衛門在長崎

幕之紋　丸亀丸之内十六菊

替紋　鶴紫鳥　丸之内二ツ巴丸

同幕之紋　丸亀丸内十六菊　紫鳥

初代婿男　関路(?)　林田与市　子孫

初高　母　書　名字

大永二壬午年　右撰出之仕所持

右元正林建房之建房　遺跡継之　鶴亀之末

系図之有　鶴亀丸ヨリ書之伝也　小寺氏家之系

系図之有　山田家ニ至氏家氏派　氏家之之書

ニ而　鶴印ヲ以テ　小田家ニ而者候

林来信　家所云々　天正九年辛卯月日系

之有家定所作事云々　於之　同元日所望

系図　其候　如之書候得ハ無

御ケ年ニ而系図有　所持候ニ而承ル

右総縁ノ元和六庚申年十一月廿四日卒

齢九十九　戒名林昨(?)寺之墓所

法名道月浦道舟

正時　　子孫

母　某　不知

天文二十三甲寅年於[illegible]生

台徳院殿御代[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]二乙丑年二月十[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

正次　　二右衛門

母　某　不知

寛永十一年[illegible]

大猷院殿御代[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天和元辛酉年十二月十三日[illegible]

[illegible]

元禄[illegible]年七月十[illegible]歳八十[illegible]

川田[illegible]鳳梅寺号直如院了[illegible]

将直　母　実[illegible]

書　[illegible]　[illegible]信濃守女

寛文九年申年十月[illegible]

太[illegible]代[illegible]年　河[illegible]二[illegible]年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]年[illegible]

寿[illegible]圓[illegible]山了道　[illegible]

将行　之吉(?)　[illegible]

母　[illegible]信濃守女

書　四代吉(?)　[illegible]女

寛文十四年寅年生[illegible]延宝元年[illegible]

大坂[illegible]　河[illegible]六[illegible]年

[illegible]

[illegible]七月

[illegible]

大坂[illegible]　[illegible]

寛文年中より紀伊国ニ住居ス宝永二乙酉年十二月
晦日卒年数八十七歳法号華蓮院春樹妙蓮

女子　母　同上
　三右衛門相勤書

将明　三右衛門　後号宗

母　紀州藩士某女
　実父　清姓某某右衛門　後号左衛門　某氏
　浪人　某家臣某右衛門　某氏女
書　実父三右衛門長女
元禄二己巳年十月某日生　紀州ニ於テ寛延二年
二月十日卒法号某年某月某日

享保十六辛亥年十一月七日於紀州某所相勤
相続仕候其節某家督被仰付同人（某）
某年某月某日同年某月某日某
某年某月某日被仰付同人某年某
卯年某被仰付某某某某某某某某十一
寛延二年某月某日卒年齢七十三歳某所
法号某院某道　某某某

長女　母同上
　実父　長子三右衛門初明書
　某所某道女

女子　母同上
　紀州藩士某某某女
　三右衛門初行長女
　某某某某某書

時大番頭井上筑後守組ニ入享保元年正月十五日死
寛文年中ヨリ御番仕候所病氣ニ付御番御免
重之進　下総守　後称又

娘
母
某妻　某氏某行妻

享保七壬寅年正月御番入大御番頭戸田能登守組入同十一丙午年
一 井上主膳正組頭仰付同年十二月廿七日御役御免同十三戊申年
小普請組支配仰付同十二年卯月十七日病死
天明元年七月大坂御番同十六辛亥年卯月十七日
信濃守組頭相勤同年十二月十八日病死

同十二庚戌年正月御番入大御番頭戸田
遠江守組ニ入元禄十七甲申年十二月十日病死
寛永十八年御番入駒込鳩山日光東照宮御普請御用相勤
御目付仰付寛保元年二月十五日大坂在番
一 新六郎寛延三庚午年大坂御番同元年九月廿六日
江戸御番組頭同四年正月廿五日大坂加番
小普請組支配ヨリ御先手鉄炮頭同三年
御目付仰付寛延年中病死同元年八月

某　母　某氏妻　早世
某　母　同上　早世
女子　母　同上　行方知レス

女　早世

女　母同上

将淳　久美　母某女

実父　織田備後守某記　大久保忠美依佐渡守

実母　不知

妻　実父某之進村某某女

寛延三庚午年年二月十三日生父某之十二年

明和四丁亥年七月七日某某某年某某

某某某某某某某某某

天明八年　歳二十五某某某某

某女　実父　戸田中務少輔記　大久保兵庫頭某女

将興　内記　吉三郎　亨次郎

某母　某女

実父　当山某某記　坂部某守秀興猶子

実母　某某記　中山勘之丞某女

妻　某之進村某某女

延享二乙丑年月日某某生某某某某

某月某某某某某某某某某某某某某年

某某某某某某之進某某某某某某某

某某某某某某某某甲午年七月十二日卒

歳三十某某某某某某某某某某之某

切支　三人之内　五代目

母　　　　転切支丹吉右衛門孫女

書　　　　池永寛右衛門妻清心
浄書　　　明和元年
　　　　　寛政二年死　松平伯耆守領分女

明和元申年十二月御届申上候　入門紀州

安永三甲午年七月十六日病死　同年十月廿六日於同所

此度町御奉行様江御届　寛政二庚戌年正月十五日

御届申上候　同所七丁目御屋敷之内　相生町宅

所持仕候所　右切支丹類族吉兵衛三歳

一　安永三甲午年十二月十六日病死仕候処

相改候

右之通御座候以上

（本多弾正）
　　南条兵部　白須甚左衛門
　　安藤兵庫　寛政十二庚申年十二月　日

寛政十二庚申年十二月

稲田之左馬　重

未十一月廿五日 西沢門蔵殿より

系譜

平氏
武田信玄 □ ○ 柳田氏

中奥御小姓西沢門蔵伜記
神戸之七郎

加 第 新

伊勢平氏

神戸氏

先祖 桓武天皇十二代後胤小松内府重盛二男新三位左近衛中将資盛

八代流裔関左近将監恭盛之孫

之年少家職之後復帰于鄕

随本所足利殿奉仕

幕之紋　丸内上羽蝶

前之紋　同

替之紋　無

養盧坊

尚盧　神戸旅人　入道法名柳敬

雖為緇子父養盧有故於神戸為緇之
二宮村盧之関中的嗣ニ而尚盧依出家
継神戸為氏
関西寺　紀伊後[illegible]

村盧

何某　旅人　入道法名樂之
名字不知

何某　旅人　入道法名悦敬
名字不知

妙子　山路正長妻
故有山路正長ヵ子ニテ是ニ嫁シ得ニ字
川本丸ト云山路氏ノ内ニ仰ニ藤や

宗貞坊
怪巌於字名徧云字ハ当時也後旅人ノ自尾
六角家ニ為ニ食ヘ道知貞盧送心ミテ信長上洛之節
六角義賢悉テ宗貞ヲ　増長ニ又破ニ宗貞ノ牧下

盛綱名遁還

何某

本ノ下　須蔵人広宗ノ為

仍従五位下下総守　入道法名宗蔵

妻

小島具教卿女

四十　須藤蔵人法名　宗三

嫡

先妻

某女房　早世

後妻

備前守[illegible]女

実

多気[illegible]小島宰相具教卿末子ナリ

女子

実右為良信長女

長野上野介信包妻

信孝

三七郎

実右為良信長三男

母

座[illegible]

天正十壬午年信孝[illegible]信孝[illegible]

信孝[illegible]及長尾[illegible]

力母ヲ為人質相返テ和ヲ[illegible]

土庶未年信孝茲ニ自立ノ志ヲ発ス秀吉
怒テ信孝母并ニ幸田彦右衛門カ母ヲ安土
城下ニ於テ磔ス是ヨリ先ニ信孝書ヲ
古市孝学初春ヲ太尊モ宮稱ニ特別ニ
庶ト関氏神戸ノ一族ニ使ヲ遣シ時其ヲ将
神戸ノ家此関ヲ名字関氏ニ改ム然ルニ
幾居又成長ニ好和
所当茲ニ至リ信孝信ニ勝利ヲ失フ一事
窮シテ尾張野間内海ニ於テ生害ス
年才廿六才

盛信　神戸十蔵　初系関氏ニ出

母　出所不知

妻　関氏某女

生国不知

権現様御代寛永年中於濃河内徳川ニ生

台徳院様御代年月不知　於城御奥ニ於テ
　　　　右同　年月不知　一国ニ於テ徳川ニ
大猷院様御代年月不知　御扶持ニ而被下置同ニ而

与御番　御目見仕相勤
寛永十九年午二月二日病死年不知
三縁浄土宗光行寺ニ葬
法名　本立院直誉西源

盛氏　十五丈

母　関氏某女

妻　出家不知

年齢不知駿河ニ而
大猷院様御代寛永十九年午年　跡目父十五丈宛行

駿河ニ而出生小普請入　依願父ノ如ク不知
承応三甲午年願不知　御書院番入ニ而
御番

蔵兼　御代ニ相勤病身ニ付
延宝六午年願不知　御役御免小普請入ニ付
御番　駿河入
不知
同七未年願不知　御番相勤候ニ付　御番
元禄元辰年十一月十七日病死年齢不知
葬所前同寺
法名　月窓院可覚圓入

雅盛 十六丈

母 出所不知

妻 某女

年月日不知出生

一 大猷院殿御代寛永七庚午年初而御目見十六歳御書院番

一 年月日小普請 御役料不知

常憲院殿御代貞享二乙丑年初而御目見[illegible]

一 元禄九丙子年月日不知[illegible]

正徳元辛卯年二月十日病死 年齢不知

葬所[illegible] 法名 本覚院圓誉[illegible]

雅矩 [illegible]

母 某女

妻 [illegible]之井上[illegible]某女

年月日不知出生

文昭院殿御代正徳元辛卯年初而御目見十六歳[illegible]

文…三年…少々家督被…沢御番入
同年…留守…御番ニ　御手
有章院様御代正徳五年…被仰付…御手
有徳院様御代享保三年八月…御代官相勤
検見御用ニ付　御手
同年十二月…御勘定ニ　御手勘…
御勘定方…役
享保元西年…御…御勘定役入
…御役…御…被仰付
同二十年二月七日病死年五十…

不着同年
法名　崇照院覚誉円道
　　妻
　萩原何右衛門正偏(タカ)女
正利
　母
　　江戸…小見山…女
雅昭(テル)
　十五歳
母
　…女

妻　前妻

享保元戌年月日不知武蔵国出生
有徳院殿御代享保二酉年五月二日父彦七并叔母
源五左衛門松平右近将監殿ゟ御番衆人
附小笠原讃岐守様御屋敷ゟ罷出
延享二丑年九月廿一日小出人能登守
惇信院殿御代芝山小笠原政成当番府
宝延元辰年十二月廿五日郎御目見候
ゟ御目見得ゟ御入御番組
宝暦二酉年七月十一日小笠原

従五位下御先手　太田忠兵衛守紀
成後宗長相馬守紀八代
年十月十二日病死七十一歳　新八郎
法名　宗源院本誉浄照

女子　母
早世
母清文左衛門某娘女

某　早世
母前ニ同
母
同断

女子　母同　十五丈人新見吉房妻女

琛英（ヨシヒデ）　彦十郎　初名源次郎

実父　元小普請奉行肝煎 下條左衛門英資男

実母　元日光奉行 小條八郎兵衛女

養母　無之

享保十三年 於武蔵 出生

惇信院所代 寛延元年 新見小普請 御役 享保 母

子死 養子 新見 男子 寛延元年

由緒 家督 相続 母

宝暦八年十月十五日 寛延四年十二月

十七日 寛延元年 新見小普請 元年

初御目見 御目見 御書院番

御役 養子 死去

宝暦九年八月十六日 養父 御番入

御目見 父

作之助 明和八卯年十月廿三日同九辰
年十月廿五日大的 上覧之節御目見
御本丸御留守居附御徒被仰付候
同人儀寛政病気ニ付安永中年正月
十九日願之通御役御免小普請入
天明之ハ安永七戌年十二月十二日家督
天明六午年十月廿二日
病死六十一歳 葬所同寺
法名 於真嚴院賴誉孫英

嫡女 彦十郎孫英妻
実彦七郎雅緑女

但何
三七郎 初名吉之進 得登 十七歳
母 十七歳 親昭女
妻 源兵衛忠清女

当行代父孫英 小普請 三郎 之節
寛政九巳年十月十六日
三郎 天明八申年四月 隠居 被仰付

同年九月病死仕候ニ付同年
跡式同十二月十一日右権九同十二月十六日
父跡式之通被下置相続仕候
源蔵組之者少々御座候ニ付
五郎兵衛同人倅平八同廿七日相勤
之候處病死ニ付家内ニ付同年九月
十九日新兵衛嫡子五郎兵衛同年
八月十三日入門職跡之儀之一成候
之處右儀之人被打
本家之儀御扶持高十石之宛所付之

右出之候ニ付大道之名跡之通被仰付候
以来之相続仕候
流儀之者之通
本家之目録道結外之者
本家源蔵嫡子某小頭新兵衛へ
前之跡之者十郎弥兵衛十人組
聞十年頃相伝之助之年月小頭源之進ニ而
病死之事河村金兵衛おもて
得太郎相続被仰付相続仕候
某当之七月正徳同年之事

御書信長公ゟ讓受之今ニ所持之
於て陣扇并脇指古市孝孝 右
無く信孝之書翰并古来ゟ所持
仕候処私曾祖父文左衛門ニ及相添譲請
御勘定組頭相勤候節数寄屋町出火之
刻焼失仕候 備前侍従様ニ而相勤候
事ニ而無御座候得共孝蔵[illegible]
何事之節不残焼失仕候由右 私
曾祖父文左衛門孫兵衛 荒
仕候且又文左衛門十郎左衛門

天明八申年七月六日御番入被仰付候
水野出羽守殿ヲ以被仰付候且又大坂定番
勤仕候 書付を以申上候 御広敷
中候 [illegible]
右上申候 [illegible]

女子 母 同
早世
十五才 [illegible]

某 母
英之也
早世

小普請組[illegible]支配之節
内田酒之丞政勝妻

妻女　実　子安様姨母

右之通御座候以上

一右百俵五人扶持取来申候　居屋敷本所三ツ目橋通
[illegible]

寛政十一未年　四十一才
神戸久之七郎（花押）

申壬四月十四日
御番定日ゟ出

平氏
宮内大輔宗盛〇播磨守奉写
口

系譜

加ゝ　平新

杉原之組御番
神戸政之丞

伊勢平氏

神戸氏

先祖桓武天皇十二代之後胤小松内府
重盛二男新三位中将資盛之
十二代之流裔勢州之神戸郷之神戸
蔵人具盛之養子国司北畠
家幕下属後織田信長之公孫

幕紋　丸之内上羽蝶

表紋　同断

具盛房
信孝　神戸三七郎
実織田信長三男

女子
実信長女
上杉上野介信包妻

盛繁（ミツ）　神戸余所之介
母　沢村閑斎之養女
妻　氏名不知
母具盛ニ仕服従母ニ乃同具盛之家ニ不具
永ク浦之後沢村閑斎ニ盛繁ヲ庇護

此後具盛之兵　雖達具盛不用家中
長沢鍬村神戸之一族ニ為当家之浪人
在住於此所也

盛賢　安右衛門
母　不知
妻　同郎
生所不知　有余久丈勝時繁居

繁慶（ヨシ）　保右衛門

母　不知

妻　同断

年月日不知嫁娶仕

右保太郎義民右衛門娘ニ而候処

年月日不知離縁仕候ニ付

屬大坂、借家仕罷出候而仕候

処当時ゟ家出仕候、以上

蟹窪（ミケ　ワニ）　仁太郎

母　不知

妻　不知

右仁太郎義離縁仕候得共

仁太郎

某

母　不知

妻　同断

右仁太郎義離縁仕候得共

繁延　十太郎

母　不知

書上

浪人 田中八左衛門

年月日不知浪人ニて

右十五口迄

常憲院様御代

延宝八年十月藤田門助

常憲院様御廃止ニ而 五拾俵二人扶持ニ而

田尻八郎左衛門跡

同八申年十一月十六日書替 御切米

御蔵米取被下置二人扶持

二人扶持御番被仰付候

同年十一月廿六日

浄徳院様ニ而御附被仰付候

天和三亥年九月十六日

浄徳院様御逝去ニ付 小普請入 松浦内蔵允組

組入ニ付 大久保出雲守組 支配

元禄七戌年二月廿五日 病死 跡番

浄徳院様ニ而 御切米五拾俵二人扶持

二人扶持ニ而御番

同十三辰年三月十三日 本ノママ 布施

布施孫兵衛 嫡子 新院御附

繁慶　清大夫

母　浪人　田中八左衛門女

妻　浪人　瀧口清左衛門女

年月日不知　没ス

常憲院様御代

元禄十二辰年七月廿六日父十左衛門跡式

無相違小普請組服部組江入

之後御番入被仰付

宝永二酉年十二月十六日番頭之内支配

其上御目見相済西丸御書院番被仰付

同年六人扶持被下置

有徳院様御代

享保十八丑年二月二日御番御免　御目

見之上仕上候御番所御書院番

之内

元文元辰年八月十三日小普請組御支配

組頭被仰付

延享二丑年十二月十三日病死

前ノ同　一流之者目法

氏家　査之助

母　節門

享保十七子年十二月廿二日十九ニ而病死

右伯母類従ニ而　八十　古記ニ

繁祖　母　浦人　清兵衛妾

右衛門　父之丞

常憲

享保七寅年八月病死

惇信院様御代

延享二丑年十二月廿二日父跡式無相違

被仰付候旨酒井雅楽頭殿被仰渡　小普請

小普請組因幡守支配入　戸田

同阿波守支配ニ成ル

宝暦三酉年　八月十五日西丸表右筆

ニ被仰付候旨西丸老中被仰渡候

西丸御書院番大番組

同十亥年　御目見

惇信院様御代　酒井主水

豊後守本一日小普請入　酒井左衛門大

宝暦十二午年十二月十二日
御部屋住ニ而　御目見被仰付
部屋住ニ而御切米三百俵被下置
明和三戌年六月廿五日御家督
御番入被仰付　御小姓組
被仰付候
天明二寅年六月十七日病死
上ル　御切米ハ御取上
御小納戸
御役料八拾俵被下置
仰付候

寛政元酉年五六月十八日病死
高八百石
法名文□院□日恭

解由英ヒデ
迄家

養女
實父　中奥御番衆
實母
元小普請組
河辺文八郎娘
延享三寅年五月病死

清開公

御代貞丈公之実子御部屋住男子
實子之□年　誕生　實子[illegible]御仕□
明和六己年　二月十五日御家督
同年四月十三日於江戸　御目見
同様御目見之上御[illegible]
御帰国之節
同年十二月　貞丈公之御逝去
御家督被仰付一統
同六丑年　正月十三日御目見　御□
之　御[illegible]

於[illegible]被仰付[illegible]
寛政元酉年　正二月[illegible]貞丈[illegible]
病死仕
同年九月七日[illegible]
御[illegible]被仰付[illegible]
同[illegible]八[illegible]
而[illegible]
同三亥年　十一月十□病死　同年[illegible]
法名　[illegible]宗
法名　[illegible]院[illegible]葬城日蔵

繁昌　同郡同村　政之丞

養母　元阿部伊勢守家来　河邊又四郎妹

實父　男谷平蔵　神尾吉次郎弟

實母　男谷彦四郎　神尾重兵衛武宗女

安永三年十月十二日江戸ニ而生

小普請入道寄合御番入之節病氣ニ付

引込罷在候処

寛政二戌年十二月七日病死ニ付

十九歳ニ而跡相続

同年十二月廿九日父政之丞家督相続

相续跡式被仰付御番入同年御目見

被仰付

同十巳年九月廿五日於山城守一同

御同人ニ付　仰付

同十一未年五月十三日御番入被仰付

同十二申年六月八日西丸御書院番被仰付

同九巳年二月廿三日相續被仰付

御番入　御役料被下置

安倍對馬守殿御目見八月十九日道中

方御の系御ニ松浪孫右衛門中傳
同年十一月廿日ニ於御本丸西之丸ニ而
以足ヲ御系図ニ而差出候御代官田中伊豫殿
ニ従者相成
御願申上　松浪孫兵衛
年月日不知　首郎殿
右系譜之義ハ諸々ニ任セ本書ニ
候處右古文書ハ中絶ニ及候ニ付
大ニ写之置候也

右系図ハ二人相続者南村左衛門生家当家ニ而前書
門出持参之者

寛政十一未年十一月

神久政之進　九十七歳
五

未十二月十二日
戸田中務少輔

京濃

平氏 口
北條安房守殿
播田丹後守

かゝ
評

中務少輔殿 戸田中務少輔
林 越後守

平氏

桔郭

先祖関前須磨盛遠末孫桔梗子たり
信濃国住信長仕徐故国居在住
其子浅野尚紀に天下浦人よ天兵
但名字改役今来[illegible]衛門

幕紋　六ツ星　丸に三桐

家紋　六ツ星

留次　九右衛門　後七郎兵衛

[illegible]清保通死

保久　五右衛門

母　[illegible]

妻　某　中西伊織[illegible]女

年月日於[illegible]

大猷院御代

清揚院様[illegible]

慶安三寅年七月九日大和守[illegible]代官ニ

[illegible]

綱吉公御[illegible]

貞享元甲子年十二月九日年[illegible]病死

[illegible]寺ニ葬

法名　直指院見性傳心

保孝　内匠

母　某　中西伊織[illegible]女

寿　未詳

出生之場所不知

右献上御代

清揚院様御桜田御殿ニ父吉兵衛御代官相勤

御小姓相勤

年月不知御殿御用勤候ニ付

小十人組ニ　百五十俵被下置

貫　上意ニ而父子之忠勤ニ付被下候

右御年不知父某病死仕候

年月不知御目見無之ニ付祖父跡勤候段

祖父寿安太兵衛儀父寿安之忠節ニ付御側衆江

ら　百五十俵御本丸被召出御小十人組相勤

元禄二年巳月寿安御目見寿安太兵衛

跡式甲府ニ而被召出御役相勤

被召出候節ハ御切米被下置

御勤寿安三人扶持甲府ニ而病死年月

保貞　寿太兵衛

寿安病死不知

組頭御役不知

母　天野　中嶋伊織守女

妻　西田七郎兵衛妹　川崎三左衛門為養女

年月不知江戸ニ而生ル

常憲院様御代大番ニ被召出江戸ニ而御目見仕候

桜田御殿

貞享三寅年十月十三日新規御番被召出

右不知相勤

同己卯年二月十七日御小姓組番入被仰付

同年七月十八日御役儀被仰付候

御番御役義相勤申候

相勤可申候

被召出

御役御免

同己未年十二月八日逼塞

元禄七年四月十七日逼塞

御免

御切米

相勤

御役

小普請入

候

以上

寛文九申年十二月十日
文昭公御目見 天和二戌年正月十一日小性組ニ
被仰付 元禄二巳年 奥御小性
被仰付 同月 桐之間御番
享保二酉年十月廿八日 御役御免 病身ニ付
寄合西丸寄合ニ入
法名 還向院 葬地 泉岳寺

保郷 三之丞 近

母 阿部大和守家臣 川端三郎右衛門女
壽 實母
元禄二巳年 月 日 武蔵国江戸ニ而生
有徳公 御代 三之丞 近茂
享保二酉年十二月廿六日 父之遺跡
弐百石 山城守殿ニ而 御目見 父之時
小普請 入 相勤候得共 病身ニ付
小普請入 御番 被仰付候
然享保二十年 十二月十日
御代替

御目見ス　[illegible]

同四卯年二月朔日小普請入[illegible]河内守支配

組入

寛延二巳年二月廿六日六十八歳ニ而病死

[illegible]法名[illegible]通養居士[illegible]

妻家原氏　妻八

母　未詳

[illegible]正徳五未年十二月

十八日病死

保芸　次男　加藤庄右衛門

母　某女

[illegible]

妻　[illegible]女

享保九辰年[illegible]御目見[illegible]

[illegible]御代[illegible]

寛延二巳年九月二日父之跡式[illegible]

[illegible]小普請[illegible]

一、右若狭守忌明ニ付
同三年三月朔日白書院ニ而初而
同四年三月十五日小書院ニ而御目見
御目見 御休之
同年十一月十五日 御前ニ而
御槍奉行御役羽織 被仰付
御役御免
宝暦九卯年七月廿三日三十六歳ニ而病死
葬所 右同所
法名 釈巌流覚誉

女子
母 同女
山名甚左衛門某女
新庄右京亮直頼妻

保国
貞之丁
實母
右同人妹
深川事
賢弥院 同女
實父
右同人弟
新庄右京亮直資

実母

妻

叔祖父 杉浦孫之進保郷母

叔父 杉浦与惣保栄妹

寛保三亥年四月廿七日生當戌歳四十二

惇信院様御代 右同断

宝暦九卯年七月□□父又右衛門病死

之後男子壱人有之候得共 猶幼少ニ付

兄□右衛門□□□同年七月病死

同九月□□□□□遺跡□□□□

□年□□□□□□小普請□□□□

去十卯年□□成長□□□□□□小普請

□□能登守組ニ而□□ □□□□年

□□□□桐□□□□□□年十月

□□□通り 御□□□□新番

新番□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□一門ニ付

□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□

安永元辰年十二月廿五日 小普請□□

御目見□□ 御□□

寛政元酉年十月九日生同十七日病死
葬所　西方寺
法名　光樹院貞誉受賢利

女子　母　実子
桂館同家小保園書
高六十石
賀集流房吉女

保章（アキラ）　後号
母　松根父
林縫中井保宝女

妻
小笠原佐渡守長臣
杉ノ森民部保澄女
明和九辰年六月五日ニ出生
右於江戸
寛政元酉年十二月十日父名代ニ而
ニ而五百石松平和泉守殿ゟ願之通
小笠原佐渡守家中ニ而相勤
同年五月十日小笠原ニ而
同月ニ　同断
同廿年五月十二日ニ而病死

同七亥年十一月八日右田中務少輔記之

保楷 十五

満之助

母

肩書
松平武蔵守保済女

右之通りに御座候

右諸家譜

寛政十一年十二月

神谷縫殿頭 二十七 □

未十一月八日家斉公御覧之旨

保新
加

京極

保科源氏
七百五十七番 ○ □
脇坂安董

小笠原
家斉公御覧之記
神保縫殿忠

覚

林京様之通

徳長　菊月　兼門様大西殿

　　　兼門殿ゟ証状書

女子

徳行様之通

右之通り御座候以上

　亥六月

下ケ札
先代女子徳行様御事
書様ニ未ヽ極り不申候

添紙

林京

先祖清和天皇十代之孫源頼政

林京之儀者林京家筋御座候

十代之孫相模守井上浪人林京

当家御 富門之名家ニ御座候

幕之段　九月蒲菊之葉

右之段　同断

紋段　九月二十日

富門（ヨシカド）之曾
元祖
徳門

母 稲葉三郎左衛門 後三郎左衛門
松平安房守家臣 湯浅孫兵衛（入道）相女

妻 小笠原相模守家臣 上原茂兵衛宗之女

常憲院殿御代
宝永元甲申年二月十日 ……
御目見得……
正徳元辛卯年十二月十八日 ……
……

正徳四甲午年十二月 ……
……
享保二丁酉年 ……
……
……
寛延三庚午年十月廿五日死 七十六
法名 ……
号 ……（カフ）泰院

徳邑（ノリ） 実人

母　小普請組松平伊豆守支配　上条左京亮宗亮女

太郎八義寛　寛延二己巳年二月十六日部屋住
ニて死　二十五歳
葬同寺　号天岳之流

徳長　始観貞　栄四郎

母　家女　四郷氏

妻　大久保源市光俊女

父太郎八病死ニ付祖父ニおゐて
寛延二己巳年二月十六日嫡孫承祖ニ

仰付
同年十二月廿七日祖父遺跡西丸御留守居与力段
ニ被下小普請組蒔田七左衛門支配ニ入
明和八卯年七月十八日神尾市左衛門組与力
ニ而御先手小笠原組与力ニ入被仰
付候ニ付被下御番
安永八亥年四月十二日桁左衛門總領ニ而
御先手組ニ　同断
天明元丑年六月廿七日養子相續被
為仰付　御役

天明二寅年十一月十六日病気ニ付小普請
組頭石川壱岐守支配ニ入 酒井飛騨守殿御渡
寛政元丑年六月廿三日右同人支配ニ而
病死 年五十
葬所同所 号想空院

雄行 母 孫之丞
内藤氏 大久保播磨守光頼女
寛政元丑年六月十三日父跡式弐百表被
同年九月十二日小普請組太田備中守支配ニ入

小普請石川壱岐守支配ニ入
同九巳年十一月廿日家督 ... 支配ニ入
小普請支配 ... 松平 ... 支配
... 源 ... 氏
... 門 ... 正 ... 妻

女子 母上同
松平 ...

女子 母上同

右之通御座候

之由所信　御当家御経候
　　　　　其当御家

白銀五拾枚御預リ天明年中
被為仰付御当家江御渡ニ相成候
四拾四候故紅文大久保候江被下候

寛政十二申年

二十二日

榊原源之丞

〔花押〕

未十一月十二日
蒲和田出
　　　　　出

先祖書

当家代
当兵衛
○
　　　　　罷出候

加八蔵彰

当人蒲和田
榊原左馬

元小十人三浦[illegible]女
当時[illegible]小十人荒井十兵衛[illegible]

神保左兵衛美英（ヨシフサ）

一 [illegible] [illegible] 拝[illegible]
[illegible]父神保[illegible]
[illegible]相続仕候年月ハ不知

一 美英 [illegible]子

寛政[illegible]
組頭[illegible]
神保[illegible]

[illegible]小十人[illegible]
[illegible]二[illegible]年十一月[illegible]
[illegible] 天明[illegible]年十一月[illegible]

[illegible]

寛政[illegible]
[illegible]
神保[illegible]十年 高利

一 美英 再[illegible]子

[illegible]利[illegible] [illegible]小十人[illegible]
[illegible]六年[illegible]二再[illegible]子
[illegible]
天明八申年十一月[illegible]

美英[illegible]
神保[illegible]

一 美仁 [illegible]

岩[illegible]記
[illegible]
寛[illegible]女
[illegible]美仁[illegible] 十一月[illegible]

右之通御座候 此外ニ不残系譜寛政
九巳年 十郎左衛門 差上候
右之通 寛政十未年 十月 差出候 右組頭
相渡候ニ付 写 差出申候
依之 右書付 申上候以上

萩原九郎兵衛

右ハ御尋ニ付 書付 差上申候
書付差出候 以上

萩原十郎左衛門

萩原美茂

美勝 萩原金左衛門

美次 萩原金右衛門

三代目 美持 萩原金右衛門

四代目 美興 実ハ美次次男 萩原與十郎

美雅 萩原右馬

男子 早世 萩原民之助

六代目 美英 実ハ奈川 萩原九郎兵衛

女子　九歳ニ而美英妻

女子　柴山権右衛門養女

男子　早世

男子　早世

美仁　神山治郎吉

女子　早世

女子　早世

藤原姓　神沼（カヌマ）

本紋　丸之内竹ニ雀

代紋　蔦

幕紋　九曜

[illegible]

[illegible]神沼佐左衛門美篤次男

一　初代　生国　武州　神沼金右衛門美倚

母　不知

台徳院様御代御召出[illegible]　百俵[illegible]

大猷院様御代御広敷添番[illegible]年月不知

[illegible]年十一月[illegible]不知年[illegible]病気[illegible]

武州豊島郡田端村[illegible]

実　不知

惣領[illegible]

一　二代目　[illegible]

母　不知

父　武州　神沢金太夫[illegible]

当方御林[illegible]代[illegible]寺[illegible]年十一月廿六日[illegible]方[illegible]二

巳六年　天領御支配[illegible]家　元和二[illegible]戌年十一月

[illegible]小[illegible]衛門[illegible]出羽守[illegible]元禄六癸年

七月[illegible][illegible]衛門[illegible]神沢[illegible]禅宗[illegible]

妻　不知

遠州　浮[illegible]

[illegible]

一　三代目

母　不知

[illegible]　神沢金太夫[illegible]

元禄六癸酉年七月廿六日[illegible]御目[illegible]出[illegible]

同年十五年六月廿五日　天領[illegible]元禄[illegible]達年

三[illegible]廿三日[illegible][illegible]伊[illegible]

[illegible]御[illegible]正徳[illegible]乙未年[illegible]月[illegible]

四[illegible]大[illegible]享保十[illegible]年[illegible]

歳[illegible]不知[illegible]号[illegible]英運

妻　不知

遠州　浮来[illegible]

[illegible]実父[illegible]二男[illegible]

一　四代目

母　不知

神沢金[illegible]興

享保九甲辰年十二月廿七日父左太郎跡式無相違
同十三戊申年八月十五日養父清閑小普請頭并
隠居仕候ニ付同十八癸丑年十二月十八日西丸表
御広敷添番被　仰付同十七壬子年閏月廿九日御広敷
ニ而小普請入被　仰付同十八癸丑年十二月
辛卯病死
　　妻
　　　　　　　恵那
　　　　　　　　　　　　　　　譲来ニ有之
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　全右ニ而無之

一　五代目
　　母
　　　　　　　　　　女
　　　　　　　　　　　　武蔵神保惣太郎

享保十八癸丑年十二月廿七日跡目父小普請
元文二丁巳年十二月九日西丸御広敷添番
延享二乙丑年九月四日御広敷番頭
寛延元戊辰年十二月十二日病死
寄合肝煎御目付支配ニ而
同二己巳年四月廿七日小普請組支配
壬申年九月十六日西丸御広敷御用達
二百俵高被下
同十二壬午年二月十六日
田安御用人被下
同年十二月十五日
心
叔
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　御足高

同年四月法名(?)門廿三日未年十月十六日
心観院殿浄誉妙(?)元……
寛(?)十一年……
永参浄心

妻　　　　　　　二
実雅娘　母　赤女　神保民之助
宝暦(?)十庚辰年七月廿六日卒
実雅女子　母　赤女　神保左京(?)太夫妻
明和三戌年六月廿三日卒

美雅女子　母　赤女　(四尾張(?)松平民部(?)之記)　石(?)川播磨守(?)妻

一
貞文(?)神保左京(?)五男
田(?)安八木丹後守(?)之記
実父　中川ノ小(?)……江戸

六代目

同(?)……
母(?)
実母　門(?)前(?)……　中川……女
明和(?)二巳年三月廿三日……
同(?)巳丑年……

同戌年十二月十二日大納言様御役二百俵被下置六年
二月廿日
孝恭院様薨御御目見以上ゟ　御小納戸御役御免
御小性組御番入天明元辛丑年十二月廿五日　大納言
様附御小十人頭被仰付七百石高被仰出并御役料　御目見
御勘定奉行被仰付天明六丙午年閏十月廿日病死
一流御由緒寛政三亥年八月十九日ニ至迄
御勤仕候処々

母書　神保佐渡守女

妻書　浄岸院様御老女　富田平十郎孝次女

後妻　酒井周防守組　石尾孫太夫有隆女

天明七未年九月廿六日

女子　母　神保佐渡守女　同人　早世

惣領　母　富田又千郎女

二男　母　同　後養　早世

女　母　同　早世

養子四男
江戸表小川町住
寛政六年孝恭院様御男
神保淡路守孝美

右之四ヶ所包之

寛政十一己未年

京都寺町五条上ル
林伊兵衛
板

大十一丁ノカハリ
塚田氏積

彦角氏
八百五十日◯塚田氏

京儒

小栗宿
塚田氏蔵
村山稲

か
寛政十一
筆
彦行

菱余氏
神山
大職冠鎌足公後胤従五位下武蔵守
源左衛門尉秀房ノ末葉神山
同苗兵衛太郎ヨリ居住安蘇郡上福尾ニ
擬居住天正寛永七癸巳年六月十日卒
六十六歳
嘉兵衛　神内花渓
茂兵衛　同断
與惣次　之介渓

宗明忠氏

由明　三下右也

母　多右之衛正尚外孫某之妻女

妻　派人　公家康某女

文昭院様御代

宝永五子年月〔illegible〕召出下野上勤尾

正徳二辰年十月〔illegible〕〔illegible〕定奉行〔illegible〕

右在

享保十八丑年二月〔illegible〕死〔illegible〕御府

同己卯年六月八日出羽守家上御目見御勝手

同年七月以後御用御府御役

御役二条城附

同年十月〔illegible〕御番〔illegible〕同十月〔illegible〕〔illegible〕

御番

御目見　御府

寛延二巳年六月十五日〔illegible〕被仰

御番〔illegible〕〔illegible〕同〔illegible〕

同年八月廿六日〔illegible〕御役二〔illegible〕

同二年十月廿七日〔illegible〕〔illegible〕

同年十二月部屋住被召出
御目見ニ而 後千鋼一包給之
同九未年正月廿六日家督五千六
百石中奥ニ入相勤寺
其後流溪院殿御葬ニ而著白
寛保二戌年九月某條因幡守屋敷ニ而卒

明富 延享元年 ニ而生
母 徳人 女
妻 女

保喜 小普請組 女
享保十二年八月出生同居
寛延二巳年八月部屋住
御目見ニ而 御目見
同九未年正月
宝暦二申年
同年六月
同七年
同年十一月
同年九月

御用人より　御封
同九年十二月廿四日　松平紀伊守殿より
御触書を　御老中御連名にて
同廿四日御書付御渡被成候　御役者
十人相納ムへし
同十六年十二月六日　上野　世良田
御宮之御修復ニ付下寺　奉加　御用ニ付　御封
之御金御渡被仰付
同十二月十八日　御奉行所相渡ス
御用人より　御封

明和二酉年十二月廿三日　浅草寺之内伝法院
御預ケ被成　御届
同八卯年八月十八日　御触書御本坊院
御本坊被仰渡　御封之写しヲ
之御本坊御預ケ相成候ニ付
同年十二月廿六日　浅草寺之院内伝法院之内
右御用ニ付金子被仰渡候
同五年四月晦日　浅草寺之寺院之伝法院之
右御用ニ付　白銀被下置候
同年十二月廿三日　浅草寺之寺中御封より　御封

以上ゟ之通ニ色ニ御稗書ニ而ニゟし
安永三甲午年 十二月廿九日死 六十二
葬本所寺 号林誉院殿道寿
安永二巳年四月十三日家督相続 御目見
居宅ニ而御用席之上ニ而御代官源右衛門
居宅ニ而御目見候

女子
元禄年間
婚姻年月不知 菅田久左衛門妻

女子
母同
播磨守某妻 ウヘテル

明枝
称□□
嫡母 一小普請組 奥門源右衛門某女
母 同女
生 同院 杉浦左兵衛某昌女
安永三午年三月十八日於江戸
同天明甲辰年十月八日御目見 小普請組入
家督之節ゟし
寛政四子年九月十日 御番入 西丸御書院
西丸御番 一流

御目見以前　御附
同五丑年六月當所大保丁部之人
同六寅年四月協田之孫之人

女子　子世
母　泉本之丞　同孔出忠順女

女子　子世
母　小寺源右衛門　同保太夫妻女

右之通相違無之候以上

高七十俵三人扶持
一　本国尾州　生国武州　浅草南分　本所緑町之内

寛政十一未年

神山福之助　二十六
（花押）

国立公文書館
National Archives of Japan